

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE

開催概要

名 称 Inter BEE 2025

会 期 11月19日(水)20日(木) 10:00 ～ 17:30
21日(金) 10:00 ～ 17:00

会 場 幕張メッセ(千葉市美浜区中瀬2-1)

入 場 無料(全来場者登録入場制)

後 援 総務省、経済産業省(建制順)
日本放送協会(NHK)
一般社団法人日本民間放送連盟(JBA)
一般社団法人電波産業会(ARIB)
一般財団法人デジタルコンテンツ協会(DCAJ)
一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)(順不同)

協 力 一般社団法人IPTVフォーラム
一般社団法人衛星放送協会
特定非営利活動法人映像産業振興機構
一般社団法人 映像情報メディア学会
公益社団法人映像文化製作者連盟
一般社団法人カメラ映像機器工業会
公益社団法人劇場演出空間技術協会
一般財団法人最先端表現技術利用推進協会
3Dコンソーシアム
一般社団法人全国地域映像団体協議会
全国舞台テレビ照明事業協同組合
先進映像協会 日本部会
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム
一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム
一般社団法人デジタルメディア協会
一般財団法人電波技術協会
一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構
一般社団法人 日本アド・コンテンツ制作協会
協同組合日本映画撮影監督協会
一般社団法人日本映画制作適正化機構
一般社団法人日本映画テレビ技術協会
協同組合日本映画テレビ照明協会
協同組合日本映画・テレビ美術監督協会
一般社団法人日本オーディオ協会
一般社団法人日本音楽スタジオ協会
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
一般社団法人日本CATV技術協会
公益社団法人日本照明家協会
一般社団法人日本動画協会
NPO法人 日本ビデオコミュニケーション協会
公益社団法人日本舞台音響家協会
日本舞台音響事業協同組合
一般社団法人日本ポストプロダクション協会
特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会
一般財団法人プロジェクションマッピング協会
マルチスクリーン型放送研究会 (50音順)

主 催 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

運 営 一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会(JESA)



Broadmedia & Entertainment
Inter BEE

REVIEW 2025



www.inter-bee.com

REVIEW 2025

Table of Contents

Graphic Report of Exhibition Categories

Professional Audio	02
Video Production / Broadcast Equipment	04
Entertainment / Lighting	06
Media Solutions	08

Event Report

INTER BEE AWARD	10
INTER BEE FORUM	12
INTER BEE EXPERIENCE	14
INTER BEE DX × IP PAVILION	16
INTER BEE IGNITION × DCEXPO	18
INTER BEE MEDIA Biz	20
INTER BEE CREATIVE	22
INTER BEE CINEMA	24
INTER BEE Visitor Services	26

Conference & Event Program

Opening & Keynote	28
Reception Party	29
INTER BEE FORUM	30
Exhibitor's Seminar	32
JBA Symposium of Broadcast Technology	33
INTER BEE EXPERIENCE	34
INTER BEE DX × IP PAVILION	35
INTER BEE IGNITION × DCEXPO	36
INTER BEE MEDIA Biz	37
INTER BEE CREATIVE	38
INTER BEE CINEMA	39

Exhibition Report

Exhibitor List	40
Exhibit Map	42

Results

Publication and Promotion	48
Visitor Profile	50
Exhibitor Profile	52

Photo by : Shigeharu Yoshihara
Akane Inagaki
Toshitaka Nakamura
SHIRO-FILM
Mitsuru Kobayashi
Design by : Katsumi Miyasaka



34,072名が幕張メッセに来場！



体験を通じて今と未来を感じた3日間



Media & Entertainmentの総合展示会



技術の進化は止まらない！



44ヶ国・地域から 1,079社 / 団体が出展



プロオーディオ部門

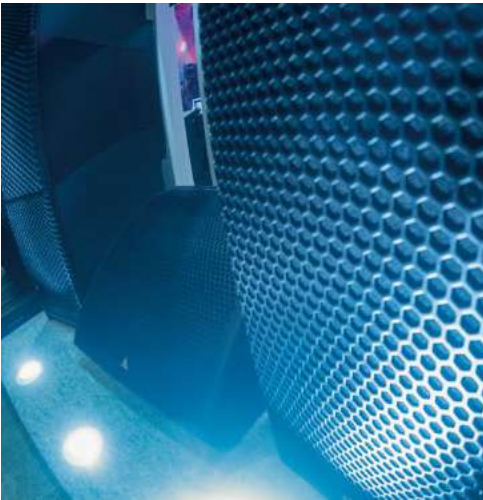
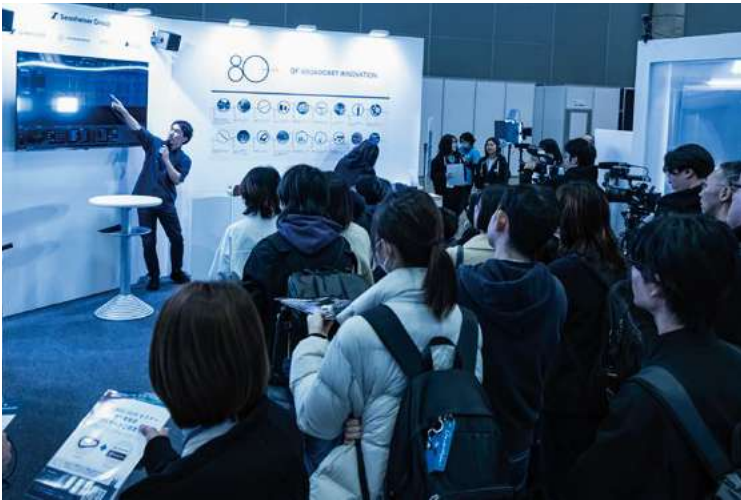
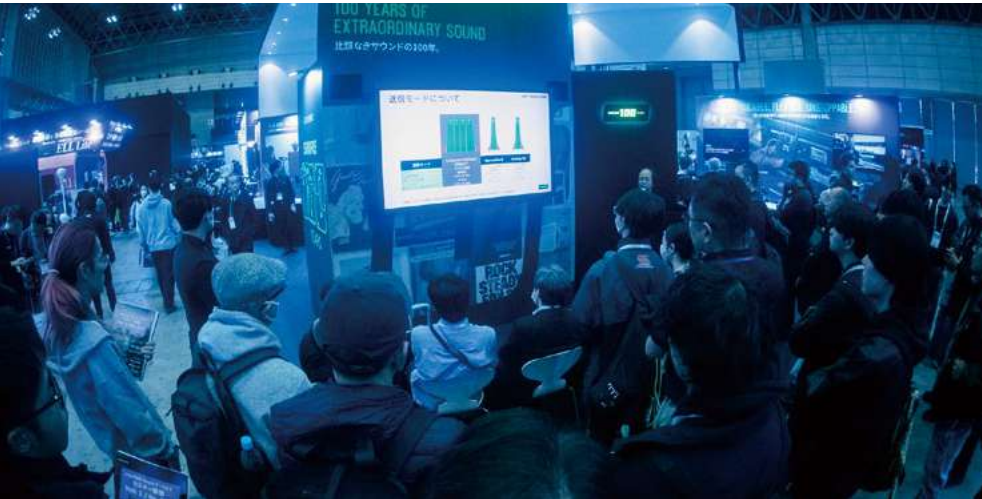
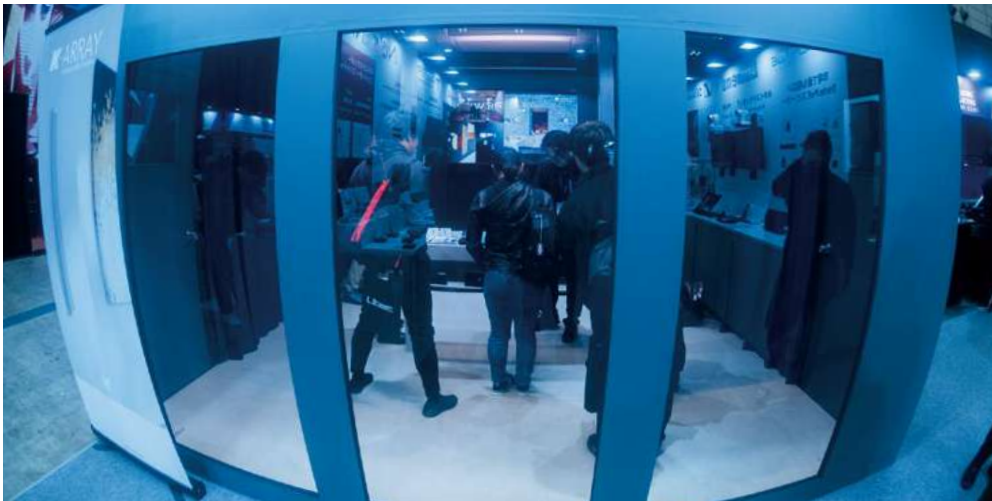
配信サービスが牽引する音楽コンテンツ市場の拡大、動画配信と連動したJ-Popのグローバル進出、活況が続くライブビジネス等、音楽・音響分野の成長は衰えを見せない。

今回のプロオーディオ部門の出展者数は279社、小間数は383小間と昨年よりも更に拡大した。

初の常設システムを備えたホールのオープンが予定されるなど、

イマーシブオーディオの本格展開に向け各社が競ったほか、

制作から表現まで音響技術の多様な進化が目撃された。





映像制作 / 放送関連機材 部門

映像コンテンツ制作の各種最新技術・製品からワークフロー関連、バーチャルプロダクション、伝送関連、制作現場での様々な機器・機材までが幅広く展開する国内最大規模の展示空間として、今回の出展者数は573社、小間数は1,294小間となった。

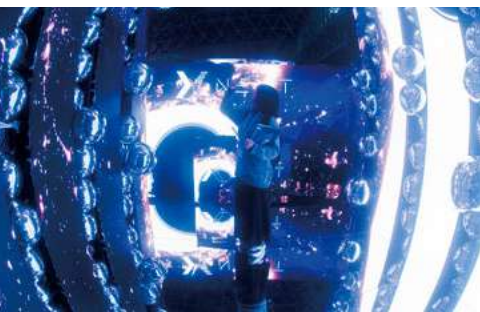
DX化やAI活用といった制作環境での進化と変革が加速的に進み、映像表現とその活用が多角化するなか、拡大するユーザと市場にアプローチする多種多様な展示に熱心な来場者が数多く訪れた。

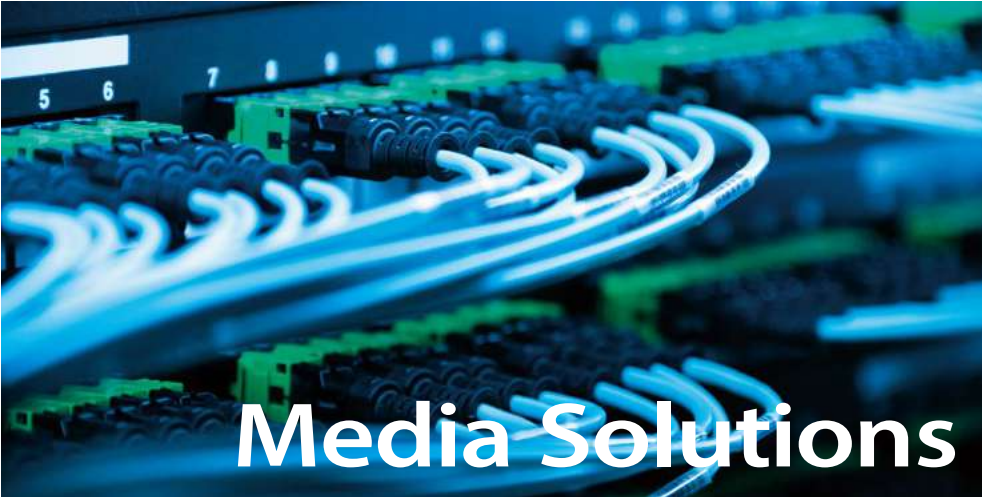




エンターテインメント/ライティング部門

出展者数は132社、小間数は195小間となって、
昨年以上に展覧規模が拡大したエンターテインメント/ライティング部門。
海外からの出展も増加し、照明、LEDディスプレイ、レーザープロジェクターから
ドローンなどの空間演出システム、またINTER BEE IGNITION×DCEXPO内の出展者による
AI活用等の先端的かつユニークな表現技術まで、次世代のエンターテインメントと
その可能性を示す場として多くの来場者の注目が集まった。





Media Solutions



メディア・ソリューション部門

コンテンツ制作・活用分野において革新的なAI技術が次々にローンチされるなど、コンテンツとメディア環境の進化の歩みが加速された今年、出展者数は95社、小間数113小間となった。生成AIを始めとしたAI活用の多様化、クラウド連携、配信やデータソリューション、動画コンテンツ運用、各種映像関連システムなど、映像・動画・放送・配信からマーケティングまで、コンテンツ活用と価値拡大をはかる様々な展示が注目を集めた。





INTER BEE AWARD 2025

バラエティに富んだ受賞が表現する産業界最前線
業界各分野から注目を集め、今後への期待が高まる

昨年より開始され今回第2回目となるINTER BEE AWARD。出展される製品・技術・サービス・ソフトウェア及びコンテンツ等から数多くの応募をいただき、審査委員会による事前の書類審査、第一次審査会を経て、開催初日の会場審査において各賞が決定された。

多岐にわたるメディア&エンターテインメント産業分野の活性化への寄与を目的に実施される本アワードだが、同時に来場者の展示見学の目安となり、またInter BEEが発信する現在から将来に向けた産業界の最前線を表現するものとして注目を集め、今後の更なる充実に期待が寄せられた。



プロオーディオ部門

◆グランプリ

案件名：Spectera―広帯域と双方向通信で切り拓く
プロオーディオの新時代
会社名：ゼンハイザージャパン株式会社



◆準グランプリ

案件名：Auri™-Auracast™ 対応ワイヤレス音声配信システム
会社名：松田通商株式会社



コンテンツ制作/放送・メディア部門(ハードウェア&ソフトウェア)

◆グランプリ

案件名：OCELLUS マーカレスカメラトラッカーによる
新たな CG/VFX 制作への貢献
会社名：ソニーマーケティング株式会社



◆準グランプリ

案件名：多様化する映像プラットフォームへの展開をサポートする
シネマカメラ EOS C50
会社名：キヤノン株式会社/
キヤノンマーケティングジャパン株式会社



◆準グランプリ

案件名：世界初！ ST2110-40 でアンシララインサートを行う
「AS2110 VANC Inserter」
会社名：株式会社アンバーサイン



コンテンツ制作/放送・メディア部門(トータルソリューション)

◆グランプリ

案件名：世界初の PTZ カメラ用電動ベデスタル「LX-ePed2」
会社名：平和精機工業株式会社 / Libec



◆準グランプリ

案件名：AI を活用したハイブリッドな映像配信ソリューション
(クラウド&オンプレミス)
会社名：Harmonic Japan 合同会社



エンターテインメント/ライティング/映像表現部門

◆グランプリ

案件名：EMO-JP / FYLo EDU-JP
会社名：株式会社レッドクリフ



◆準グランプリ

案件名：クロウディシリーズ
会社名：株式会社五常



審査委員会賞

案件名：AI 生字幕制作システム『J-TAC Pro』
会社名：株式会社テレビ朝日クリエイト



案件名：DaVinci Resolve 20
会社名：ブラックマジックデザイン株式会社





INTER BEE FORUM

AI時代の本格的到来と転換点に立つメディアの未来 情報空間とコンテンツの可能性を探る3日間

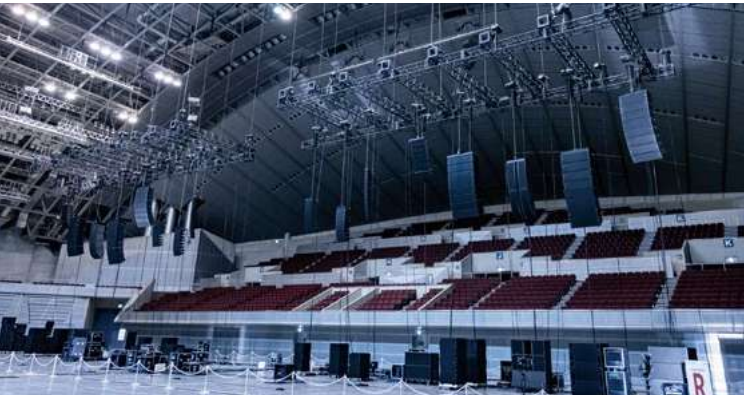
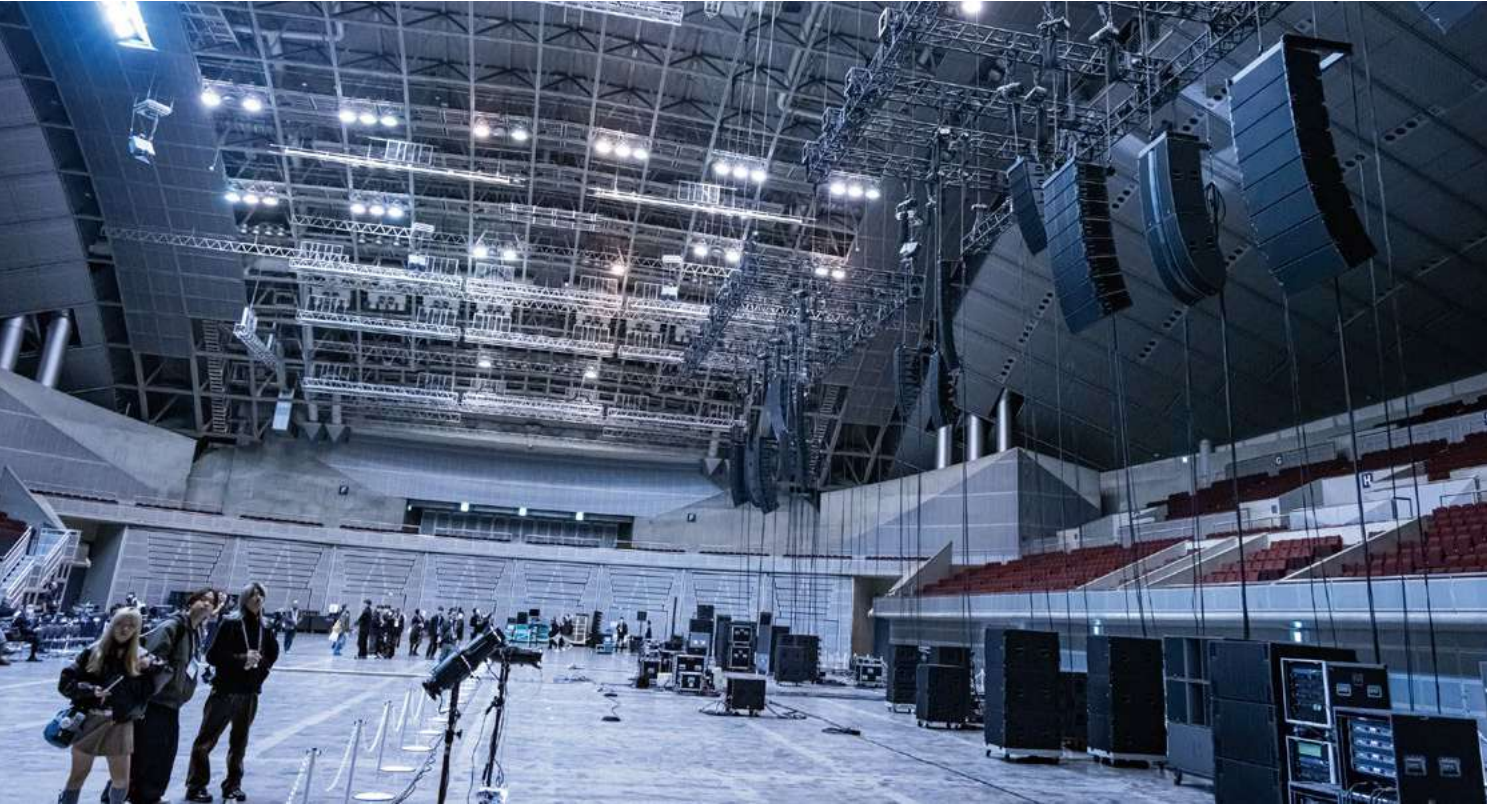
本年のINTER BEE FORUMは、Opening & Keynoteにおいて主催者挨拶に続き、総務省情報流通行政局長 豊嶋基暢氏による「放送行政の最新動向」と経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ文化創造産業課長 梶直弘氏による「デジタル技術と日本のコンテンツ産業」、日本放送協会メディア総局 副総局長 山崎英一氏による「情報空間の参照点を目指してーNHK ONEと公共放送の新たな役割」の3つのオープニング基調講演からスタートした。

各部門と特別企画からは、開催初日にINTER BEE IGNITION×DCEXPO基調講演「ドジャースはなぜ投資するのか? 球団もテレビ局も“投資家”になる時代」と「テレビドラマに革命を起こすAI映像」の2セッションが行われた。2日目にはIPTV Forum企画「放送とネット配信の両輪で創るテレビサービスの未来〜アドレッサブルTVからフェイク対策まで」、音響部門基調講演「イマーシブ・サウンドの現状と今後の動向Part II<パッケージ・放送・配信・教育現場>」、INTER BEE MEDIA Biz基調講演「メディアの『信頼』を考える」、INTER BEE CREATIVE「京都映画進化論〜100年を振り返り、次の100年を考える」の4セッション。最終日ではJEITA Global AI Cloud Pavilion基調講演「クラウドが駆動するメディアDX:放送局の基盤構築から、生成AIが拓く未来まで」、INTER BEE DX×IP PAVILION基調講演「『最初の一歩』の最適解ーランドデザイン構想と現場の実践から学ぶ、放送局IP化のリアル」、INTER BEE CINEMA基調講演「映画『侍タイムスリッパ』制作の舞台裏」が行われた。

多角的な視点からエキスパートが最新動向を発信する9つの特別講演と出展者セミナー、いずれもAIの本格活用をはじめとして新たな時代への転換点に立つメディア、情報、コンテンツの可能性を探る発信が行われ、3日間に渡り多くの聴講者が熱心に耳を傾けた。

Date:	Nov. 19-21
Place:	International Conference Hall
Area:	1,277 sqm (4 Rooms)
The Number of Sessions:	29 sessions
The Number of Speakers:	107speakers
The Number of Audiences:	4,984 audiences (Total)





INTER BEE EXPERIENCE *X-Speaker* *X-Headphone* *X-Microphone*

更に高まる体験共有エンターテインメントへのニーズ
とどまることのない音のテクノロジー進化に注目が集まる

今年も活況が続き、国内外ともに更に元気さの増すライブエンターテインメント市場。国内においても大規模ライブ会場の新設から中小規模会場の充実まで、体験共有エンターテインメントへのニーズの高まりに応える様々な動きが目立っている。

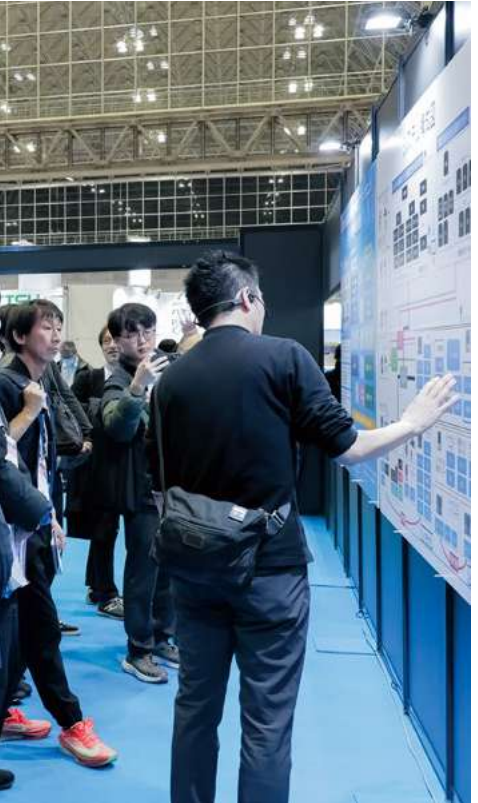
そういった市場環境やオーディエンス動向を背景に、今回のINTER BEE EXPERIENCE X-Speakerで注目を集めたのは、ポイントソース/スタンド・ラインアレイスピーカーのカテゴリーに5つの製品が揃ったことだ。本カテゴリーは、ポイントソーススピーカー及びグラウンド設置での小型ラインアレイスピーカーをプレゼンテーションするものだが、このカテゴリーにおいても音のテクノロジー進化には目覚ましいものがあり、中小規模のライブイベントや会場施設にアプローチする最新システムとして多くの関心が集まった。また初参加となるブランドも登場し、13ブランドの製品システムが競演したイベントホールには、業界関係者をはじめとする多くの来場者が訪れ、迫力ある試聴を体感すると同時に各ブランドの製品システムそれぞれの進化に熱い視線が注がれた。

展示ホール2で行われたX-Headphone/X-Microphoneでは、ヘッドフォン製品6ブランド、マイクロフォン製品2ブランドによる6ブースが展開された。毎年多くの来場者が集まる本特別企画だが、昨年よりも更に来場数が1割以上増加し、試聴体験型展示へのニーズが益々高くなっていることが伺われた。来場者の属性も年々多様化し、プロオーディオや映像コンテンツ制作の業界関係者から次世代を担う学生まで、幅広い層の人々が自由に体験する特別企画として賑わいを見せた。

X-Speaker	
Date:	Nov. 19-21
Place:	Event Hall
Area:	3,098 sqm (Arena)
The Number of Products Brands:	11 brands, 13 Products
The Number of Presentations:	25 presentations
The Number of Audiences:	4,867 audiences (Total)

X-Headphone/X-Microphone	
Date	Nov. 19-21
Place	Exhibition Hall 2
Area	139.5 sqm
The Number of Products Brands: Headphones	6 brands
The Number of Products Brands: Microphones	2 brands
The Number of Visitors	3,766 audiences (Total)





INTER BEE DX × IP PAVILION

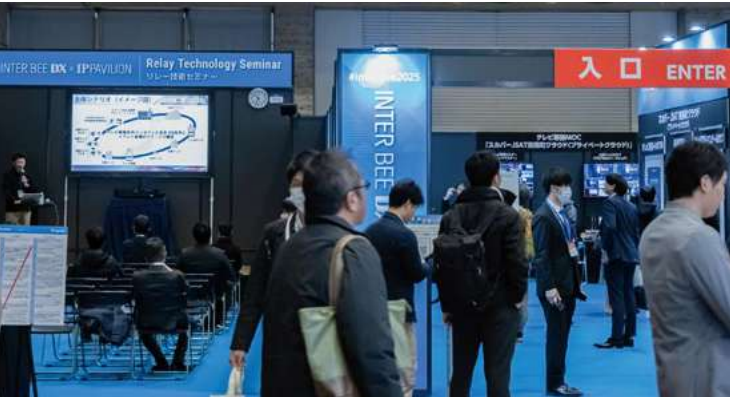
放送局のソフトウェア化を実証的に示す 未来に繋ぐ次世代のコンテンツ制作効率化への提案

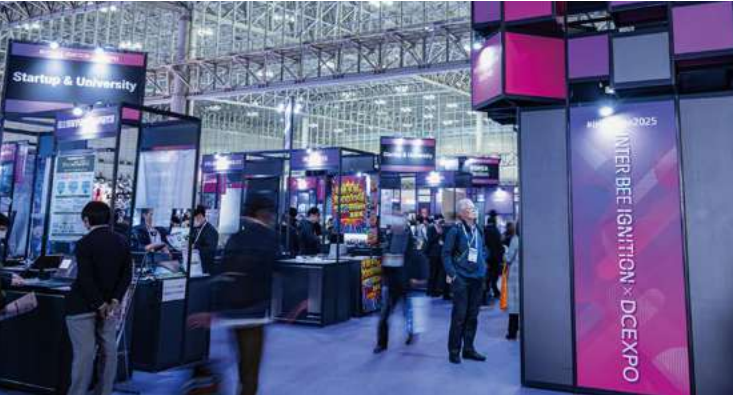
放送局のIP化推進を具体的に提案する特別企画として常に注目されて来たINTER BEE DX×IP PAVILIONだが、今回はIPを基盤としてAI活用を含む「ソフトウェア化」を取り入れ、「リモートプロダクション」「クラウド化」「自動化」「セキュリティ」への対応をテーマとした、これからの放送局と次世代のコンテンツ制作をより具体的に示す場となった。

多くの関連企業が参画・出展し、出展者の連携による実証的な展示展開がベースとなっているが、今回は5つの企画コンセプトによって構成された。分散型オペレーションを実証する「多様なロケーションから柔軟なリモートプロダクション、リソースシェアリング」、自社に設備を設置することなく運用する「ハイブリッドクラウド環境におけるマスターおよびプロダクションの冗長性と柔軟な運用性」、次世代の基盤技術を実証する「多種多様なIPプロトコルによる柔軟なデータ連携」、最適かつ多様なリモートプロダクションとオペレーション手法を実証する「最先端ネットワークインフラの活用」、システム全体を網羅的に監視する「システム全体を『点ではなく面』で捉える統合監視手法の提案」である。

今回は37社が出展。アドバイザーと企画・協力で19社・団体が参加した。開催の1ヶ月前より4回に渡る準備勉強会として、『『放送の未来をつくる』IP化とリモートプロダクションの最前線』をテーマに具体的事例を公開。会場ではリレー技術セミナーも行われ、日々進化するIP技術とコンテンツ制作のDX化にあって、出展企業がコンセプトを共有し構成するという最大の特長を活かした実証提案型のパビリオンに多くの来場者が訪れた。

Date:	Nov. 19-21
Place:	Exhibition Hall 3
Area:	497 sqm
The Number of Participant Companies:	37 companies
The Number of Adviser:	5 companies
The Number of Planning, Support:	14 companies
The Theme of Keynote Speech:	The "First Step" Solution-Learning the Reality of Broadcast IP Transformation from Grand Design Concepts to On-Site Practices
The Number of Sessions:	28 sessions
The Number of Audiences:	826 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	8 exhibitors





INTER BEE IGNITION × DCEXPO

新たなメディア時代を切り拓く試みから発見する、 進化するコンテンツ創造と表現テクノロジーの現在地

大きな転換点を迎えているメディアにあって、その未来はどのようなものなのか。またどのように新たな価値が創られて行くのか。そんな問いにアプローチする取組みとして、今年のINTER BEE IGNITION×DCEXPOでは「共創とAIが切り拓く新しいメディア時代～コンテンツ・AI・ビジネスの次章へ～」をテーマに展開された。

新たなコンテンツを創造する表現とテクノロジーの最前線を紹介する本特別企画が特に力を入れているのは、若手クリエイターやスタートアップ、多分野のビジネスフィールドと放送局との共創であり、また本格的活用が始まったAIをはじめとするコンテンツテクノロジーの可能性を探ることである。先行する11月4日にはオンラインでのプレセッションとして海外連携や国際ビジネスを目指す「TechBiz Pitch Battle -8社が描く未来図、世界へ挑むピッチステージ-」が行われ、開催期間中には放送局がスタートアップからの公開プレゼンテーションを受ける「共創が変える放送の未来：テレビ局 × スタートアップ ピッチ 2025」や、Vライバーがモデレーターを務める「Vライバーが聞く・伝える！最先端コンテンツ技術のいま：出展者プレゼンテーション」が展開された。そのほか、AI映像やAI映画、AI活用のアート・エンタメ、ショート動画ビジネスから放送局の事業創出の取組みやコンテンツによる地方創生まで、多角的な視点からの未来を探るセッションが行われた。

展示エリアでは、生成AIにフィーチャーした展示・デモエリア「AI Street - AI Ignites Creation」と「韓国 KOCCA CKL TOKYO パビリオン」が加わった55の企業・団体・大学の出展により、表現テクノロジーの最前線に触れ体験する場として数多くの来場者で賑わった。

Date:	Nov. 19-21
Place:	Exhibition Hall 6
Area:	828 sqm
The Theme of Keynote Speech:	• Why Are the Dodgers Investing? An Era Where Both Teams and Broadcasters Become 'Investors' • AI Imagery Revolutionizing Television Drama
Capacity of Main Stage:	50 seats
The Number of Sessions:	15 sessions
The Number of Speakers:	52 speakers
The Number of Audiences:	1,330 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	55 exhibitors





INTER BEE MEDIA Biz

新たな名称を掲げてメディアを駆け巡るビジネスを打ち出し、多彩な展示とセッションで多様な人々を惹きつける。

2年続いたBORDERLESSからINTER BEE MEDIA Bizに名称を変更。動画マーケティングラウンジも出展スペースに取り込み、これまでよりさらに強くビジネス色を打ち出した。

この特別企画の売りであるカンファレンスの題材もより一層幅を広げて、多様な来場者を惹きつけることに成功。ハイブローなテーマから現場感あふれるものまで、バリエーションあふれるセッションを展開した。

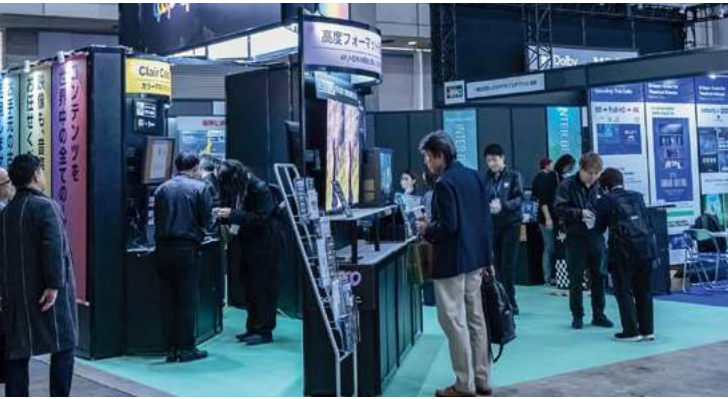
国際会議場での基調講演は「メディアの『信頼』を考える」と題し、ディスカッション。昨年から今年にかけてメディアに問われる「信頼」について重厚な議論を展開した。

オープンステージではタイムスケジュールをぎっしり詰め込んだ13のセッションを展開し、延べ聴講者は2,564名と昨年から大幅に増加した。SVOD、YouTube、縦型ショートと複数の動画形式でそれぞれセッションを企画した一方、スポーツ、生成AI、データ、IP、音声など様々な最前線の話題も議論。さらに、あえて制作費を題材にしたりメディア再編の議論にも挑むなど、多様に広がるビジネス課題を考えうる限り網羅した。またAfter Hoursではショート動画制作者の1分プレゼンを募り、参加性の高いコーナーとなった。

INTER BEE MEDIA BizはCONNECTEDからBORDERLESSを経て、メディアを多角的に議論するカンファレンスの場として定着したと実感できた。

Date:	Nov. 19-21
Place:	Exhibition Hall 7
Area:	551 sqm
The Theme of Keynote Speech:	Rethinking Trust in the Media
Capacity of Main Stage:	200 seats
The Number of Sessions:	14 sessions
The Number of Speakers:	52 speakers
The Number of Audiences:	2,775 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	8 exhibitors





INTER BEE CREATIVE

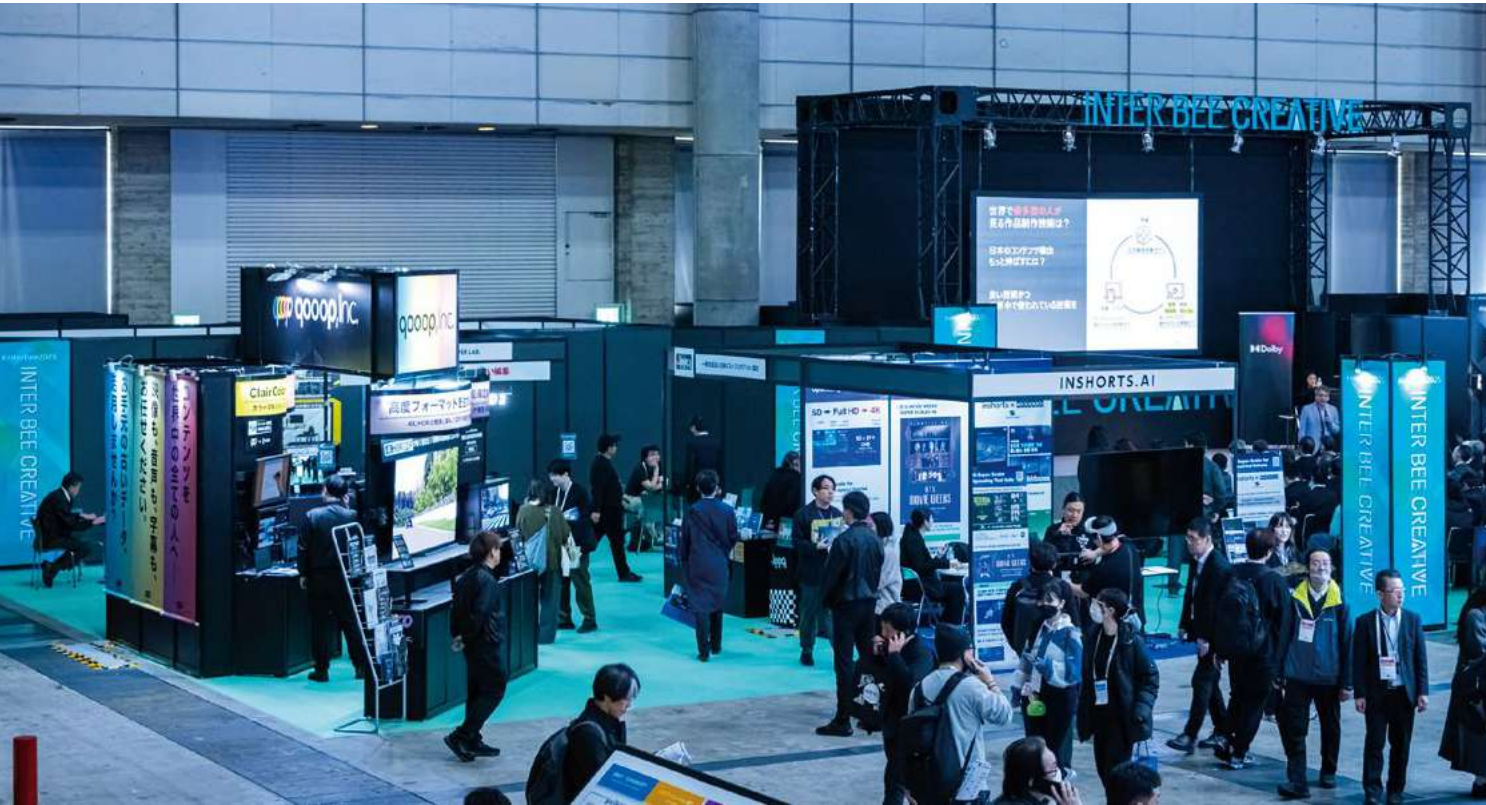
映像制作技術の進化を多角的に発見する3日間、放送、映画、配信を横断して見えて来たものとは

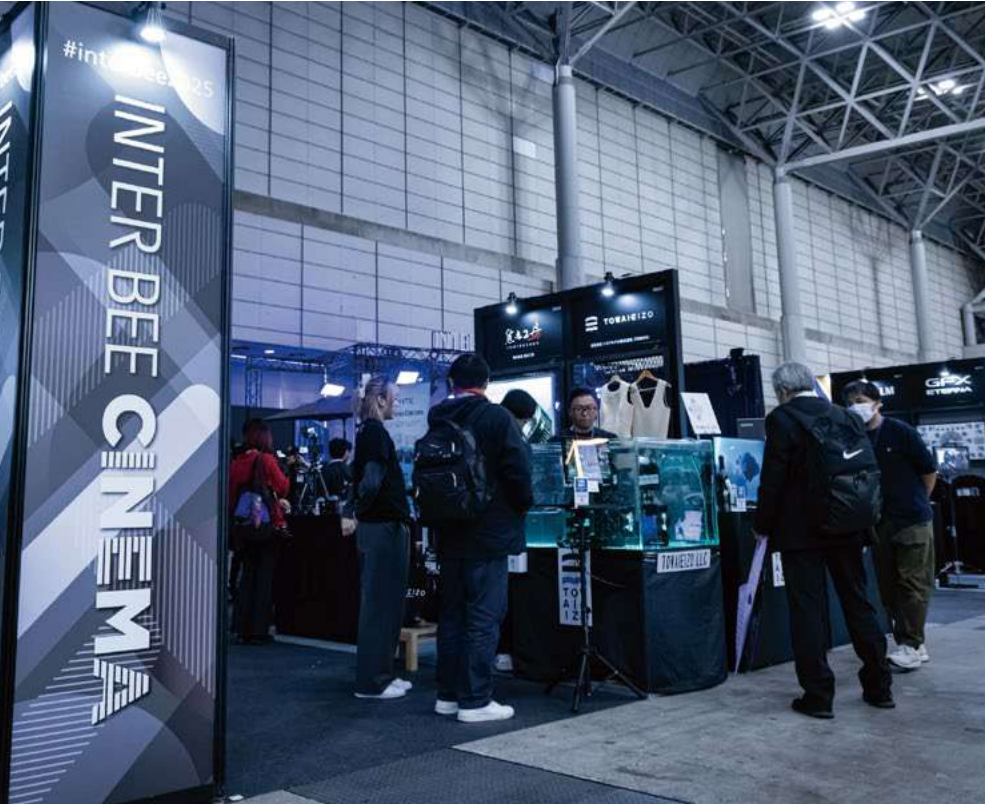
放送、映画から配信と映像コンテンツのプラットフォームが拡大するなかで、映像表現・映像制作技術の進化はとどまることはない。かつて日本映画の黄金期を支えた京都の映画撮影所も100年の歴史を経て、これからの100年に向けてどう進化して行くのか、そんな興味深いテーマで、東映京都撮影所長の小嶋雄嗣氏、松竹京都撮影所会長の大角正氏、京都府助言役の山下晃正氏に加え映画監督の樋口真嗣氏を迎えた「京都映画進化論～100年を振り返り、次の100年を考える」が、INTER BEE CREATIVE 基調講演として行われた。

またオープンステージでは、民放からは「UNREALで切り拓く映像イノベーション～TBSが取組む映像制作最前線」、NHKからは「100年後の火星が教えてくれたこと -SF映像表現のための、プロダクション・リデザイン-」と、放送局による映像制作進化の取組みが紹介された。そのほか、半導体の世界企業で映像制作にも大きな影響力のあるNVIDIAのJason Schugardt氏による「When AI Meets VFX: The Future of Visual Storytelling」、同氏も加わった「テクノロジーがどう僕たちのクリエイティブを覚醒するか (VP・AIがもたらすもたらした新たな映像世界)」のセッション、また日本映画の最新VFXを語る『『新幹線大爆破』製作秘話～あのショットはこうやって作られた！』など、様々な角度からの映像制作最前線が発信された。

2日目の20日には今年も《Adobe Day 2025》が1日を通じて行われ、生成AIでの映像制作ワークフローの進化や生成AI導入による映像ビジネス変革をはじめ、実践的な映像制作技術を紹介する各セッションに熱心な聴講者が数多く詰め掛けた。

Date:	Nov. 19-21
Place:	Exhibition Hall 8
Area:	352 sqm
The Theme of Keynote Speech:	The Evolution of Kyoto Cinema: Reflecting on 100 Years and Envisioning the Next Century
Capacity of Main stage:	102 seats
The Number of Sessions:	19 sessions
The Number of Speakers:	32 speakers
The Number of Audiences:	1,975 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	4 exhibitors





INTER BEE CINEMA

映画制作の現場からのリアルな発信、製品機材・技術・トレンドを共有するコミュニティ

制作現場で活躍するプロフェッショナルと次世代を担うコンテンツメーカーが集う、映画に特化したコミュニティとして、昨年より開始された特別企画INTER BEE CINEMA。今年も引き続き、日本映画撮影監督協会(JSC)と日本映画・テレビ照明協会(JSL)にご協力をいただき実施された。

本特別企画では、多岐に渡る映画制作技術や制作過程のなかで、特に撮影技術をはじめとした制作現場に関わるリアルな発信に重点が置かれている。トークステージでは、本特別企画のメイン展示といえる「レンズバー(エクスペリエンスエリア)」と連動した「シネマレンズトレンドウォッチ2025」をはじめとして、「ワンストッププロダクションにおける撮影部の仕事と役割」、「『HANA-BI』『バッチギ』『フラガール』から最新作まで 撮影監督山本英夫が語る、日本映画30年の撮影機材の変貌」、「モーションフィルムの現在地」、「カメラ開発者視点から見る『フィルムライク』考察」、「ジオラマ風撮影技法と映像クリエイターによる地域活性化」、「最新シネマカメラ放談」といった、撮影に関わる様々なセッションが展開された。また、世界的に評価が高まる映画「国宝」の音の世界とその技術をテーマとしたセッションや、女性監督の視点からの映像制作現場をテーマとしたセッションなど、制作現場に軸足を置いた興味深い発信も行われた。

展示では先述の8ブランドのレンズ製品が揃ったレンズバー(エクスペリエンスエリア)に加え、プロダクト展示エリアには9社・団体が出展し、映画関係者をはじめとした映像制作に関わる多くの来場者が連日訪れた。

Date:	Nov. 19-21
Place:	Exhibition Hall 8
Area:	401 sqm
The Theme of Keynote Speech:	Behind the Scenes of the Film Samurai Time Slipper
Capacity of Main Stage:	50 seats
The Number of Sessions:	13 sessions
The Number of Speakers:	24 speakers
The Number of Audiences:	866 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	15 exhibitors
The Number of Equipment Cooperation:	12 exhibitors



Inter BEE Visitor Services

来場者の皆様にとってより快適で楽しく有意義な時間を過ごしていただけるよう、さまざまな来場者向けサービスを実施しました。



Inter BEE
Streamer Lounge

撮る・配信する・つながる場所

▶会場：幕張メッセ 展示ホール4&展示ホール7 INTER BEE MEDIA Bizエリア内
YouTuberや各種クリエイターの来場者を対象とした専用ラウンジ(Streamer Lounge)を会場内に設置。本ラウンジは、映像配信・動画制作を行う来場者が、取材・撮影・編集・配信を円滑に実施できる拠点として提供することを目的としてご利用いただきました。



VENUE TOUR

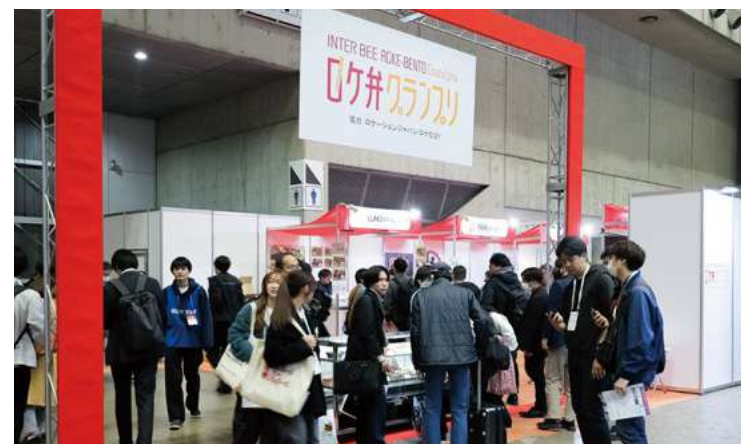
Inter BEE 学生ツアー

学生を対象とした会場ツアーを実施しました。本ツアーは、Inter BEE 2025の限られた見学時間を最大限有意義に過ごしていただくことを目的に企画しました。会場では、映像・放送・メディア業界に精通した専門家・業界人が引率役を務め、展示内容の解説だけでなく、業界の最新動向や技術トレンドについても丁寧に説明を行いました。



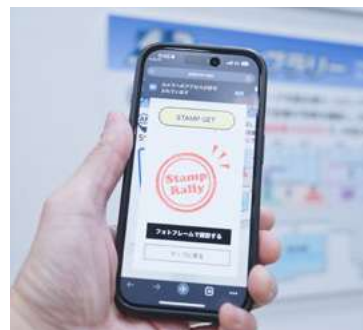
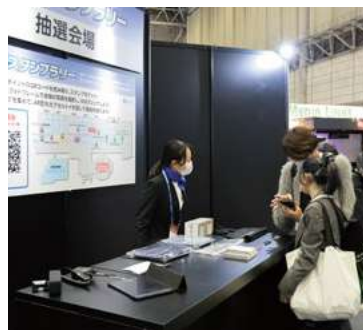
ロケ弁グランプリ

▶会場：幕張メッセ 展示ホール2・3
▶協力：ロケーションジャパン/ロケなび！
昨年復活を果たしたInter BEEの隠れた人気企画「ロケ弁グランプリ」を今年も開催しました。会期中は多くの来場者が足を止め、各店自慢のロケ弁を購入し、投票に参加いただきました。来場者が実際にロケ弁を購入・試食し、「美味しい」と感じたお弁当に一票を投じる参加型イベントとして、今年も高い注目を集めました。



ARスタンプラリー

▶景品交換所：幕張メッセ 展示ホール4
会場各所に設置したポイントを巡りながらAR(拡張現実)でスタンプを集めるスタンプラリーを実施。スタンプを5つ集めると、AR巨大カプセルトイを回す権利を付与し、抽選結果ごとに特製のノベルティをお渡しする企画でした。ARスタンプラリーは、来場者に展示会全体をより楽しんでもらうだけでなく、展示会場の回遊促進や、最新技術の体験導線強化を目的として開催しました。



Inter BEE Cafe Stand

▶会場：幕張メッセ 展示ホール3・4・8 ▶協力：Tsunagu Coffee Marche
関東を中心としたロースター（自家焙煎）が一堂に会し、厳選された高品質のスペシャルティコーヒーを、来場者一人ひとりの好みに合わせて丁寧に抽出。ここでしか味わえない特別な一杯を楽しみながら、心落ち着くひとときを過ごしていただきました。コーヒーの香りに包まれた空間は、次のブース訪問や商談に向けてリラックスできる、会場内の「くつろぎの場」として多くの方にご利用いただき、好評のうちに幕を閉じました。



Street Piano

▶会場：幕張メッセ 2Fコンコース展示ホール4
来場者が自由に演奏できるストリートピアノ企画を実施。本企画は、音楽・映像・表現を軸とするInter BEEの特性を活かし、来場者参加型の体験コンテンツとして会場内のにぎわい創出を目的に2Fに設置し、プロ・アマチュアを問わず、音楽を通じた自然な交流が生まれる場となることを目指しました。



Opening & Keynote



Inter BEE 2025の幕開けを飾る初日のオープニング&キーノートスピーチ

開催初日の2025年11月19日(水)午前10時より幕張メッセ国際会議場において、Opening & Keynote が開催されました。

61回目の開催に際して、一般社団法人電子情報技術産業協会の漆間 啓会長による主催者挨拶がビデオメッセージ形式で行われました。

その後のオープニングキーノートスピーチでは、総務省 情報流通行政局長の豊嶋 基暢氏による「放送行政の最新動向」、経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 文化創造産業課長の梶 直弘氏による「デジタル技術と日本のコンテンツ産業」、そして日本放送協会 メディア総局 副総局長 山崎 英一氏による「情報空間の参照点を目指して—NHK ONE と公共放送の新たな役割」の講演が行われました。講演会場には多くの来場者が集まり、それぞれの講演に熱心に耳を傾けていました。

「コンテンツがつなが 新たな創造と体験の未来」

本イベントの開催にあたりましては、ご後援をいただいております関係省庁や各種団体をはじめ、多くの皆様のご支援・ご協力を賜りました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。1965年に始まった「国際放送機器展」を原点とするInter BEEは、昨年、第60回という節目を迎え、本年は61回目の開催となります。半世紀を超える歴史の上に築かれた信頼と実績を礎に、音と映像、そして放送・通信という技術の発展とともに歩んできたInter BEEは、いま、新たな時代へと進化を遂げています。

近年では、放送の枠を超え、コンテンツをつくり、届け、体験する、あらゆる技術を包括する「メディア総合イベント」へと発展してまいりました。放送・映像制作に携わるプロフェッショナルのみならず、マーケティング、ライブエンターテインメント、クリエイティブテクノロジーなど、幅広い分野の技術者、クリエイター、ビジネスパーソンが一堂に会する場として、その価値を高めております。

本年のInter BEE 2025では、《コンテンツがつなが新たな創造と体験の未来》を実現すべく、コンテンツとテクノロジーの融合を体験できる多彩な展示や企画を通じて、メディアの未来を発信してまいります。放送技術や通信の進化と同様に、Inter BEEもその歩みを止めることなく、これからも皆様と共に進化を続けてまいりたいと考えております。ご来場の皆様におかれましては、1,000社を超える出展者による展示や多彩なコンファレンスを存分にご覧いただき、今後のビジネスや新たな創造のヒントとしてお役立ていただければ幸いです。最後になりますが、Inter BEE 2025が皆様にとって、実りある交流と新たなビジネス機会を創出する場となり、メディア・エンターテインメント産業、そしてそこに関わる文化と社会がさらに発展していくことを心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

一般社団法人電子情報技術産業協会
会長 漆間 啓



総務省 情報流通行政局長 豊嶋 基暢 氏



経済産業省 商務・サービスグループ文化創造産業課長 梶 直弘 氏



日本放送協会 メディア総局 副総局長 山崎 英一 氏

Reception Party



61回目の開催を祝したレセプションパーティー

昨年に引き続き、開催初日の夕刻にはレセプションパーティーが、幕張メッセ国際会議場コンベンションホールにて開催されました。会場には、出展企業をはじめ、関連団体、ユーザー、プレスなど、多くの業界関係者が来場し、終始華やかな雰囲気包まれる中、活発な交流が繰り広げられました。また、「INTER BEE AWARD」の表彰式も同時に実施され、優れた技術や取り組みを顕彰することで、メディア・エンターテインメント業界における技術革新への貢献を示す場となりました。

「新たなアイデアやビジネス創出に つながる出会い、交流の場」

InterBEEは本年で61回目の開催となります。実に長い歴史を刻んでまいりましたが、これも一重に、ご出展者の皆様、お力添えをいただいている関係省庁や各団体をはじめ、多くの皆様のご支援、ご協力のおかげでございます。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

1965年に「国際放送機器展」としてスタートしたInter BEEは、半世紀を超える歴史において、音と映像、そして放送・通信という技術の発展と共に歩みを続けてまいりました。

近年では、放送の枠を超え、コンテンツをつくり、届け、体験する、あらゆる技術を包括する「メディア総合イベント」へと進化しています。

本年のInter BEEは、《コンテンツがつなが新たな創造と体験の未来》をテーマに、AIを活用した最新技術・製品も数多く登場し、コンテンツとテクノロジーの融合を体験いただける多彩な展示や企画を通じて、メディアの未来を発信いたします。

おかげさまで、InterBEEは、放送・映像制作に携わるプロフェッショナルのみならず、マーケティング、ライブエンターテインメント、クリエイティブテクノロジーなど、幅広い分野の技術者、クリエイター、ビジネスパーソンが一堂に会する場と、評価いただけるまで成長してまいりました。今後も、放送技術や通信の進化と同様に、Inter BEEもその歩みを止めることなく、皆様と共に進化を続けてまいりたいと考えております。

InterBEEが、本年も皆様にとって新たなアイデアやビジネス創出につながる出会い、交流の場となりますことを心より願っております。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、私のご挨拶とさせて



一般社団法人電子情報技術産業協会
理事
執行 裕子

「幕張から感謝と Inter BEEのさらなる発展への祈念」

初日を終えまして、Inter BEEがさらに大きく力強いイベントに成長していること、そして皆様のご尽力で初日が素晴らしい幕開けとなったことを、まずは心より祝い申し上げます。私達は、Inter BEEの特別企画「INTER BEE IGNITION x DCEXPO」のDCEXPO、先端コンテンツ技術を担当しております。

また、今年はAIに着目しまして「AI IGNITES CREATION」というタイトルを掲げました。まさに、AIでクリエイションに火をつけるというタイトルでございます。この火をつけるということで、皆様にこの火花が次の時代の導火線をたどり、ますます皆様が携わるメディア産業、エンターテインメント産業、そしてビジネスがますます盛り上がることを本日確信しました。

これからの広がる未来にもワクワクを隠せない気持ちでございます。



一般財団法人デジタルコンテンツ協会
専務理事
浪越 徳子 氏



INTER BEE FORUM

11月19日 (水)

KN-191 基調講演

国際会議室

Inter BEE 2025 Opening & Keynote

主催者あいさつ：一般社団法人電子情報技術産業協会 会長

オープニング基調講演1：
放送政策の最新動向

総務省 情報流通行政局長
豊嶋 基暢 氏

オープニング基調講演2：
デジタル技術と日本のコンテンツ産業

経済産業省
商務・サービスグループ
文化創造産業課長
梶 直弘 氏

オープニング基調講演3：
情報空間の参照点を目指して ―NHK ONEと
公共放送の新たな役割

日本放送協会 メディア総局 副総局長
山崎 英一 氏

KN-192 INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演① [AI翻訳字幕サービス] 国際会議室

ドジャーズはなぜ投資するのか? 球団もテレビ局も“投資家”になる時代

パネリスト
Elysian Park Ventures
Managing Partner
Jay Adya 氏
株式会社テレビ朝日
経営戦略局 投資戦略部
オープンイノベーション担当部長
増澤 晃 氏
モデレーター

スクラムベンチャーズ
創業者兼ジェネラル・パートナー
宮田 拓弥 氏

KN-193 INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演② 国際会議室

テレビドラマに革命を起こすAI映像

パネリスト
テンバレード株式会社
代表取締役 兼 AIクリエイター
宮城 明弘 氏
株式会社ytv
メディアデザインプロデューサー
汐口 武史 氏
モデレーター
専修大学 文学部
ジャーナリズム学科 特任教授
ジャーナリスト
松本 淳 氏

SP-192 特別講演 [日英逐次通訳付] 201会議室

IABM 業界動向報告：メディアビジネスを成功に導く変革

12:30
▼
14:00
パネリスト
IABM
ナレッジ&インサイト統括責任者
クリス・エパンス 氏
ゲストスピーカー
日本ラグビーフットボール協会
横田 杏那 氏
MZA Media
VP, Commercial & Partnership
Abi Hemingway 氏

SP-193 特別講演 201会議室

イマーシブ・サウンドの現状と今後の動向Part I
《映画・舞台・ライブステージ》

14:15
▼
15:45
パネリスト
株式会社メディア・インテグレーション
執行役員
シニア・テクノロジー・オフィサー
前田 洋介 氏
株式会社角川大映スタジオ
営業部 ポストプロダクション技術課
課長
竹田 直樹 氏
公益財団法人東京歴史文化財団東京芸術劇場
舞台管理担当係長
サウンド・ディレクター
石丸 耕一 氏
有限会社ティースペック
代表取締役
橋本 敏邦 氏
モデレーター
株式会社テレビ朝日
技術局設備センター
阿部 健彦 氏

SP-194 特別講演

201会議室

ローカルコンテンツが拓く、地域価値最大化戦略
～ テレビ発地域イノベーションの可能性 ～

パネリスト
放送サービス高度化推進協会
業務執行理事
安田 隆二 氏
北海道テレビ放送株式会社
社長室
阿久津 友紀 氏
株式会社毎日放送
経営戦略局
齊藤 浩史 氏
株式会社テレビ西日本
事業企画局
尾野上 敦 氏
株式会社テレビ宮崎
コンテンツビジネス局
大山 真一 氏
モデレーター
dentsu Japan
グロスオフィサー (特任執行役員)/
メディアビジネスイノベーション担当
須賀 久彌 氏

11月20日 (木)

KN-201 基調講演

国際会議室

IPTVフォーラム企画：放送とネット配信の両輪で創るテレビ
サービスの未来～アドレスサブルTVからフェイク対策まで～

IPTV Forum 開会の挨拶
特別講演：放送・配信関連政策の
最新動向
一般社団法人 IPTVフォーラム
代表理事
江崎 浩 氏
総務省 情報流通行政局
放送業務課
配信サービス事業室長
横澤田 悠 氏

10:30
▼
12:30
パネルディスカッション
パネリスト
一般財団法人マルチメディア振興センター
調査研究部・研究主幹
飯塚 留美 氏
株式会社 フジテレビジョン
メディア技術開発部 兼
メディア企画室
伊藤 正史 氏
一般社団法人 IPTVフォーラム
ハイブリッドキャスト推進連絡会
技術部門リーダー
西村 敏 氏
一般社団法人 IPTVフォーラム
CTA WAVEリエゾンパーソン
出葉 義治 氏
モデレーター
株式会社三菱総合研究所
モビリティ・通信政策本部
ICTインフラ戦略グループ
主任研究員
土橋 由実 氏
InterBEE IPTV Forum 展示紹介
一般社団法人 IPTVフォーラム
広報普及委員会 主査
株式会社TBSテレビ
メディアテクノロジー局
五藤 寛文 氏

KN-202 音響部門基調講演 国際会議室

イマーシブ・サウンドの現状と今後の動向Part II
《パッケージ・放送/配信・教育現場》

13:00
▼
14:30
パネリスト
株式会社ミキサーズラボ
サウンド・プロデューサー/
レコーディング・エンジニア
高田 英男 氏
日本放送協会
コンテンツテクノロジーセンター
コンテンツサービスグループ (音声)
入江 健介 氏
株式会社WOWOW
技術センター
コンテンツ技術ユニット エンジニア
戸田 佳宏 氏
名古屋芸術大学
サウンドメディア・
コンポジションコース教授
長江 和哉 氏
モデレーター
株式会社テレビ朝日
技術局設備センター
阿部 健彦 氏

KN-203 INTER BEE MEDIA Biz 基調講演 国際会議室

メディアの「信頼」を考える

14:45
▼
16:15
パネリスト
株式会社 博報堂
メディア環境研究所
山本 泰士 氏
慶應義塾大学
メディア・コミュニケーション
研究所教授
津田 正太郎 氏
東京大学
教授
林 香里 氏
モデレーター
日本テレビ放送網株式会社
報道局デジタルグループ リードコンテンツプロデューサー
三日月 儀雄 氏

SP-201 INTER BEE CREATIVE 基調講演

201会議室

京都映画進化論～ 100年を振り返り、次の100年を考える

10:30
▼
12:00
パネリスト
映画監督
樋口 真嗣 氏
京都府助言役 (参与)
アート&テクノロジー・ディレクション部長
山下 晃正 氏
東映株式会社 取締役
映像副本部長
京都撮影所長
小嶋 雄嗣 氏
松竹株式会社 顧問
株式会社松竹撮影所
代表取締役会長
大角 正 氏
進行
INTER BEE CREATIVE ディレクター
結城 崇史 氏

SP-202 特別講演

201会議室

国際的な競争力を生むイマーシブコンテンツの未来

12:30
▼
14:00
パネリスト
株式会社CinemaLeap
取締役 / イマーシブ・ジャーニー
プロデューサー
待嶋 勝利 氏
株式会社ドリル CCO
ディジュアル・ストラテジスト
イマーシブ・ミュージアム プランナー
西田 淳 氏
クリエイティブディレクター
メディアアーティスト 空間デザイナー
カラーズクリエイション株式会社 代表取締役
株式会社 NIGHT WAVE 代表取締役
(一財) プロジェクションマッピング協会 代表理事
石多 未知行 氏
株式会社コンセント 渡邊課/
VR映像作家
渡邊 徹 氏
モデレーター
東京国際工科専門職大学 デジタルエンタテインメント学科
MIRAI-LABO. 教授
イマーシブコンテンツ・ソサエティ 主宰
渡部 健司 氏

SP-203 特別講演

201会議室

広告主が動くテレビデータ：営業・PRが知るべき活用のリアル

14:15
▼
15:30
パネリスト
REVISIO株式会社
代表取締役社長
郡谷 康士 氏
株式会社スイッチメディア
代表取締役社長
高山 俊治 氏
ノバセル株式会社
マーケティングパートナー一部/
マーケティング部 部長
真鍋 達哉 氏
株式会社BuySell Technologies
執行役員
マーケティング統括本部 本部長
田中 奏真 氏
モデレーター
日本電気株式会社
PBU メディア統括部 MEグループ
シニアプロフェッショナル
深田 航志 氏

SP-204 特別講演

201会議室

災害時に「誰一人取り残さない」を目指して ～放送メディアの挑戦～

16:00
▼
17:30
パネリスト
信州大学
DX推進センター
特任教授
不破 泰 氏
中京テレビ放送株式会社
ビジネスプロデュース局
ビジネス開発グループ
中村 鑑三 氏
山口放送株式会社
取締役ラジオ局長兼
技術局長
恵良 勝治 氏
東京メトロポリタン
テレビジョン株式会社
地域防災DX事業室
服部 弘之 氏
モデレーター
北海道テレビ放送株式会社
技術局長
樹山 英則 氏
メディア研究者
(元NHK放送文化研究所)
村上 圭子 氏

11月21日 (金)

KN-211 JEITA Global AI Cloud Pavilion 基調講演 国際会議室

クラウドが駆動するメディアDX：
放送局の基盤構築から、生成AIが拓く未来まで

10:30
▼
12:00
・現場が選ぶクラウド：フジ・ネクステラ・ラボ ×
Oracle Cloud Infrastructure の答え
株式会社フジ・ネクステラ・ラボ 放送ソリューション部 部長
福元 陸郎 氏
日本オラル株式会社
クラウド事業統括エグゼクティブ・アーキテクト
廣瀬 一海 氏

・AIが変えるメディアの未来：
創造力とテクノロジーの新境地

マイクロソフト
Chief Director of Telco, Media & Gaming Worldwide,
Dillen Alahendra 氏

・融合するエンターテインメント：
生成AIとクラウドが実現する新たな視聴体験

株式会社AbemaTV
Development Headquarters Content &
Data Division/Principal Content Engineer
中澤 優一郎 氏

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
インダストリー事業開発マネージャー
山口 賢人 氏

KN-212 INTER BEE DX×IP PAVILION 基調講演 国際会議室

「最初の一步」の最適解 - グランドデザイン構想と
現場の実践から学ぶ、放送局IP化のリアル

13:00
▼
14:30
パネリスト
株式会社WOWOW
技術センター
コンテンツ技術 ユニット
高畑 陸 氏
株式会社WOWOW
技術センター
設備プロダクトユニット エンジニア
齊藤 徹 氏
株式会社南日本放送
報道制作局制作技術部
副部長
皆内 圭介 氏
池上通信機株式会社
放送システム技師長
齊藤 力弥 氏
モデレーター

東日本第3事業本部 エンタープライズ事業戦略部
プリセルシステム エキスパート
榎戸 真哉 氏

KN-213 INTER BEE CINEMA 基調講演 国際会議室

映画『侍タイムスリッパ』制作の舞台裏

15:00
▼
16:00
映画監督
安田 淳一 氏

SP-211 特別講演

201会議室

AVC部会企画：動画配信サービスから見たテレビデバイスの現状と期待

11:00
▼
12:00
株式会社U-NEXT マーケティング部 部長
前田 弘之 氏

SP-212 特別講演

201会議室

Amazon・Netflixの広告参入でAVOD新潮流を考える90分

13:00
▼
14:30
パネリスト
メディアビジョンラボ
代表
奥 律哉 氏
株式会社TVer
広告事業本
マーケティングソリューション部
Senior Account Executive
廣田 一章 氏
日本テレビ放送網株式会社
営業局営業戦略センター
アドリーチマックス部 副次長
武井 裕亮 氏
株式会社AbemaTV
ビジネスディベロップメント本部
プロダクト部門 統括
大久保 晶平 氏
モデレーター

日本電気株式会社
PBU メディア統括部
MEグループ シニアプロフェッショナル
深田 航志 氏

SP-213 特別講演

201会議室

“放送技術の将来”を多様な視点で語りあおう!

15:00
▼
16:30
パネリスト
東京大学大学院
情報理工学系研究科
特任研究員
川森 雅仁 氏
株式会社イコーゼ
代表取締役
大吉 なぎさ 氏
慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科
特任教授
菊池 尚人 氏
株式会社フジテレビジョン
メディア技術開発部
伊藤 正史 氏
モデレーター
メディア研究者
(元NHK放送文化研究所)
村上 圭子 氏



出展者セミナー

▶会場：国際会議場1階「103」会議室・「104」会議室

11月19日 (水)	ES1-193 14:00▶15:30	世界で活躍するトップクリエイターが語る、オン・エア・グラフィックスの最前線	Dot Connector Inc. Founder ケネス・ツアイ 氏	
	ES2-193 14:00▶15:30	万博における共同利用型リモートプロダクションを運用して得た知見と課題	パナソニック コネクト株式会社 現場ソリューションカンパニー 映像メディアサービス本部 エンターテインメントサービス部 尾井 秀朗 氏 NTTビジネスソリューションズ株式会社 バリュエーションカンパニー 主査 平田 翔一 氏 NTTスマートコネクト株式会社 メディアビジネス部 マネージャー 田中 克哉 氏 朝日放送テレビ株式会社 技術制作技術部 リーダー 細川 圭吾 氏 関西テレビ放送株式会社 総合技術局 制作技術センター 担当部長(回線) 石田 武司 氏 読売テレビ放送株式会社 技術局チーフ・エキスパート 沖田 一剛 氏 日本放送協会 大阪放送局 コンテンツセンター第3部 チーフエンジニア 荒木 喜一 氏	 
11月20日 (木)	ES1-202 12:00▶13:30	放送・広告のプロが知っておくべき音楽ライセンス ～コンテンツ新時代の業務用音楽ライブラリ活用法～	スピーカー 株式会社ナッシュスタジオ 営業部長 宮下 丈 氏 株式会社リガール・ミュージック/ 株式会社バンディロ・ミュージック 代表取締役 竹内 一人 氏 モデレーター 株式会社電通ミュージック・アンド・エンタテインメント 執行役員 中上 淳司 氏	 
	ES1-203 14:00▶15:30	メディア企業のためのクラウド成功戦略 ～生成AI時代に求められる、クリエイティブを加速させるクラウドインフラ設計と運用のベストプラクティス～	株式会社TBSテレビ メディアテクノロジー局未来技術革新事業部 テックリード 亀田 遼 氏 コンテンツ戦略局プラットフォームビジネス部 主事 松本 卓紘 氏 株式会社毎日放送 総合技術局制作技術センター 木戸 勇太 氏 株式会社毎日放送 総合技術局制作技術センター 木戸 勇太 氏 アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 技術統括本部 ストラテジックインダストリー技術本部 メディアグループ シニアソリューションアーキテクト 小林 剛 氏 株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス 技術部 シニアテクニカルディレクター 平野 翼 氏	  
11月21日 (金)	ES1-212 12:00▶13:30	放送メディアのサイバー・レジリエンス — IP化・クラウド化時代における「止めない放送」を実現するために 多様化する放送環境を守り抜くための次世代セキュリティの視点	フォーティネットジャパン合同会社 技術統括本部 エンタープライズビジネス技術本部 プリセールスアーキテクト 村田 敏一 氏	
	ES2-212 12:00▶13:30	インテリジェントなクラウドネイティブプレイアウト “Vipe” -BCNEXXT社”Vipe”の革新的なテクノロジー、 IIJ 社クラウドの紹介及びOTT連携事例-	1. インテリジェントでアダプティブなプレイアウト スピーカー BCNEXXT Inc. グローバル セールス&マーケティング担当 副社長 グラハム シャープ 氏 BCNEXXT JAPAN 副社長 横山 和枝 氏 2. IIJクラウドサービス概要説明及び”Vipe”連携事例 スピーカー 株式会社インターネットイニシアティブ 技術統括部長 堂前 清隆 氏 3. ”Vipe”製品サマリー ,Q&A スピーカー BCNEXXT JAPAN 山本 克己 氏	  
	ES1-213 14:00▶15:30	組織横断的技術推進で新たな地平へ：オブザーバビリティで実現するPLAY社の成長戦略	株式会社PLAY PLAY CLOUD本部 技術推進室 技術推進グループ マネージャー 丸山 健一 氏 株式会社PLAY PLAY CLOUD本部 技術推進室 技術推進グループ テックリード 市川 賢 氏 New Relic株式会社 技術統括 コンサルティング部 ソリューションコンサルタント 世木 樹樹 氏	  
	ES2-213 14:00▶15:30	次世代統合ラジオマスター PoC結果報告と今後の計画について	スピーカー スカパー JSAT株式会社 メディアソリューション事業本部 メディアシステム部第1チーム長 前中 隆 氏 株式会社エフエム東京 取締役 管理本部 技術局長 川島 修 氏	 
	ES0-192 11:30▶12:30	映像制作の未来を創る Google Cloud GenMedia が拓く新時代	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 カスタマー エンジニア 段野 祐一郎 氏	
	ES0-193 13:00▶14:00	AI エージェントが加速させる、メディア業界のイノベーション	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 カスタマー エンジニア 水野 翔 氏	

オンライン出展者セミナー

▶会場：Inter BEE 公式Website(オンライン)

11月19日 (水)	ES0-192 11:30▶12:30	映像制作の未来を創る Google Cloud GenMedia が拓く新時代	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 カスタマー エンジニア 段野 祐一郎 氏	
	ES0-193 13:00▶14:00	AI エージェントが加速させる、メディア業界のイノベーション	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 カスタマー エンジニア 水野 翔 氏	

同時開催 民放技術報告会

JBA-191	11:00 ▶16:45	制作技術部門	座長: フジテレビジョン 真崎 晋哉 氏 幹事: フジテレビジョン 島川 徹平 氏
IOWNAPNを活用したリモートプロダクションの実証と展望 -第66回輝く! 日本レコード大賞の取り組み-			
報道用ループブレイク設備の開発			
AIを用いた編集業務の効率化・番組クオリティの向上			
汎用機器を活用したサブ収録システム 刷新の取り組み			
全社ファイルベースシステム「MBSFLight」の構築			
「ヘリ九州・四国(高知)モデル」における情報共有システムの開発			
報道ファイルベースシステムの更新			
既存サービスを組合せた高速ファイル伝送システムの開発			
札幌テレビ放送ファイルベースシステム更新の概要			
LiveMultiStudioを活用した新たな映像演出への取り組み			
多機能送り返しシステム「MRET」の開発			
JBA-192	13:00 ▶15:05	ラジオ・音声部門	座長: エフエム東京 秋山 拓也 氏 幹事: エフエム東京 小田 秀明 氏
FM802 AoIPを利用したラジオマスター更新			
フレッツ回線を利用したST2110-30長距離伝送実験の報告			
ハイレゾ/イマージブオーディオ対応 新音声中継車の導入			
ワイヤレスマイク送信者の受信状況可視化による業務支援			
回線束ね装置を使った局外中継への取組			
JBA-193	13:00 ▶16:45	CG・コンピュータビジョン部門	座長: TBSテレビ 八木 真一郎 氏 幹事: TBSテレビ 内田 慎 氏
3Dスキャンワークフローの簡易化とその活用			
放送局開発技術の外販ビジネス展開について ～ AIソリューション「エイディ」～			
AIを用いた放送用ヒューマンキーヤーの開発			
「CDTVライブ!ライブ!」における3DCGアーティストの歌唱演出			
地方選向けCGシステム”SENSOKU”の開発			
野球中継におけるデータ配信システム・スポーツビデオコーダー更新			
次世代伝送回線を活用した新たなバーチャルプロダクション 演出による音楽番組での取り組み			
六本木第2スタジオVPシステム改修			

JBA-141	13:30 ▶16:00	特別企画	座長: TBSテレビ 八木 真一郎 氏 幹事: TBSテレビ 内田 慎 氏
放送システムIP化のリアルと本音 ～もう悩まない! MoIP導入の必勝パターンを探る～			
コーディネータ			
パネリスト			
文化放送 総務局技術システム部長 杉原 賢治 氏 TBSテレビ メディアテクノロジー局ステーション統括部 宮崎 真一 氏 日本テレビ放送網 技術統括局技術戦略部主任 上原 裕司 氏 テレビ朝日 技術局設備センター 近藤 佑輔 氏 フジテレビジョン テックアートデザイン/局制作技術統括部チーフエンジニア 安藤 悠人 氏 朝日放送テレビ 技術局制作技術部 上田 俊太郎 氏 テレビ大阪 技術局技術担当副部長 山口 恭平 氏			

JBA-211	10:30 ▶16:20	送出部門	座長: テレビ朝日 石原 友和 氏 幹事: テレビ朝日 小池 幸宏 氏
アドリーチマックスプラットフォームを支えるシステム紹介			
アドリーチマックスプラットフォームと連携した新CMバンクの実現			
アドリーチマックスプラットフォームにおけるSSP接続と リアルタイムオークションについて			
アドリーチマックスプラットフォームによるCM直前差し替え			
AI音声認識エンジンを利用したリアルタイム字幕制作システムの構築			
ゲームエンジンを活用し、ソフト化でお求めやすい価格を目指す! 第2世代バーチャルマスターオペレーターの製品開発			
リアルタイム字幕送出システムのクラウド化			
マスター AI統合監視システム「Multi-View Guardian」の開発			
ローカル局の挑戦!“ちょうどいい”番組オンライン納品システム開発			
マスター AI自動監視システム「VMO AI-Plus」			
テレ東オンライン納品システムの構築			
JBA-212	11:20 ▶12:10	配信部門	座長: 日本テレビ放送網 御崎 芳仁 氏 幹事: 日本テレビ放送網 甲斐 創 氏
バーチャル春高バレー ライブ配信			
フジテレビONE/TWO/NEXT smart配信設備更新			
JBA-213	13:00 ▶14:15	データ放送・放送通信連携・アクセシビリティ部門	座長: 日本テレビ放送網 御崎 芳仁 氏 幹事: 日本テレビ放送網 甲斐 創 氏
「オールスター感謝祭」における視聴者参加型スマホクイズ 「感謝祭Qs」の開発とOAでの実施について			
新たなテレビCM体験を創出する 「リアルタイムアンケートCM」技術の実現			
現行放送でアドレスサブルTV広告を実現する放送ターゲット広告技術 (ISDB版TA)と偽動画広告対策技術の開発			
JBA-214	13:00 ▶14:40	回線・伝送・送信部門	座長: テレビ東京 坂 豪造 氏 幹事: テレビ東京 菊地 裕介 氏
北海道民放共同送信リモコンシステムの構築			
リソースシェアシステム			
フルIP回線センターシステムの構築について			
WOWOW IP回線センターの構築			

関連企画 ポスターセッション			
11月19日(水) 12:45 ▶17:00	AI 生字幕放送に伴うマスター設備の独自構築		静岡朝日テレビ 横田 達裕 氏
	テレビ東京CG センター更新		テレビ東京 小谷 菜摘 氏
	「テロップ出ししてくれる君」の開発		テレビ東京 水沼 佑太 氏
	RAGとGeminiを用いた社内情報検索システム		テレビ朝日 小俣 慎太郎 氏
	資料を高速で事実確認!根拠ある一括ファクトチェックと対話型エージェントの深掘り調査		テレビ朝日 吉原 智哉 氏
	400万件以上の映像素材データベースで瞬時に検索AIを用いた検索・閲覧システムで開発PoC開発の手順		テレビ朝日 中村 敦 氏
	FM同期放送における同チャンネル干渉を想定したGNU Radioによるシミュレーション		山形放送 結城 真澄 氏
	大山基地局 マイクロ制御監視予備 スターリンク運用		フジテレビジョン 三村 純一 氏
	Tech Design XIにおけるリアルタイムDolby Atmos環境の構築		TBSテレビ 亀田 遼 氏
	ロボティクスカメラ・PTZカメラの番組運用		フジテレビジョン 江藤 秀一 氏
11月21日(金) 11:15 ▶14:30	ロードレース中継におけるMobile GNSS利用と新距離計システム		フジテレビジョン 鈴木 雄一郎 氏
	「タリターリーレボリューション」自動スイッチング技術を用いた番組連動ゲームの開発		TBSテレビ 亀田 遼 氏
	権利情報管理・印税計算システム「ななほし」		テレビ東京 原田 真彰 氏
	「ホワウン・プロッサム」リアルタイム生成AIを用いたお絵描きゲームの開発		TBSテレビ 高野 宏太郎 氏
	リアルタイムモーションキャプチャ技術の番組活用		テレビ東京 谷川 潤樹 氏
	「見逃し配信」自動編集技術の自社開発		朝日放送テレビ 森島 健太 氏
	TVerリアルタイム配信 番組告知スレートジェネレーターの開発		テレビ東京 森岡 友貴 氏
	編集用文字起こしアプリ「もしもしくん」の開発		朝日放送テレビ 櫻田 滋大 氏
	Web記事作成用の文字起こし精度を向上させるアプリの開発		テレビ朝日 中山 真吾 氏
	NASによる多チャンネル録画システム		テレビ大阪 嶋村 龍介 氏

同時開催 全岐協フォーラム 2025 in 幕張

▶ 会場: 国際会議場1階「104」 ▶ 主催: 一般社団法人全国地域映像団体協議会
▶ 日時: 11月20日(木) 14:30 ~ 17:10 ▶ URL: www.zeneikyoyo.jp

INTER BEE IGNITION×DCEXPO

放送局×スタートアップ共創が拓くメディアの未来～コンテンツ・AI・ビジネスの次章へ～

■ 基調講演

▶会場：国際会議場2F 国際会議室

11月19日 (水)	KN-192 13:00▶14:00			
	ドジャースはなぜ投資するのか？球団もテレビ局も“投資家”になる時代			
	パネリスト Elysian Park Ventures Managing Partner Jay Adya 氏	株式会社テレビ朝日 経営戦略局 投資戦略部 オープンイノベーション担当部長 増澤 晃 氏	モデレーター スクラムベンチャーズ 創業者兼ジェネラル・パートナー 宮田 拓弥 氏	
	KN-193 14:30▶15:30			
	テレビドラマに革命を起こすAI映像			
	パネリスト テンバレード株式会社 代表取締役 兼 AIクリエイター 宮城 明弘 氏	株式会社ytvメディアデザイン プロデューサー 汐口 武史 氏	モデレーター 専修大学 文学部 ジャーナリズム学科 特任教授 ジャーナリスト 松本 淳 氏	

■ 企画セッション

▶会場：展示ホール6 INTER BEE IGNITION×DCEXPOオープンステージ

11月19日(水)	
IG-191 10:30▶12:00	
先進映像協会 ルミエール・ジャパン・アワード 表彰式2025	
良質な3D、4K、8K、VR 作品へ贈られるルミエール・ジャパン・アワードと、当該分野の発展への寄与が期待される取り組みへ贈られるグッドプラクティス・アワードの、今年度の受賞者を表彰・公表しました。	
IG-192 12:30▶13:30 DCEXPO企画	
広告制作のプロが考えるAI映像の未来・AI プロンプトディレクターの仕事とは？	
STUDIO D.O.G GK 代表 AI Filmmaker, NFFT AI x Fashion Movie Event Founder 木之村 美穂 氏	株式会社TYO Chief Producer 馬詰 正 氏
IG-193 14:10▶15:55 出展者プレゼン	
Vライバーが聞く・伝える！ 最先端コンテンツ技術のいま:Part 1	
参加企業	
(株)ツーハンズメタ 東海テレビ放送(株) 合同会社inoree / (株)榎屋 (株)SAFEHOUSE / MPLUSPLUS(株) (株)SHOSABI / (株)ワイルドマン IPconnect(株) / (株)レッドクリフ 東京大学 稲見・門内研究室「MoHeat」 慶應義塾大学大学院 Embodied Media Project 慶應義塾大学理工学部・大阪大学基礎工学研究科 津田塾大学 学芸学部 情報科学科 栗原研究室 京都産業大学大学院 平井研究室・産総研 東京大学 稲見・門内研究室「Handoid」	
モデレーター	
イチナナVライバー 清 楼銘 氏	イチナナVライバー スラたん 氏
IG-194 16:10▶17:10 DCEXPO企画	
AI映画の今と未来 —『グランマレビト』に見る創作の進化と、 日本初AI国際映画祭が拓く新潮流—	
パネリスト	
ガウマピクス株式会社 代表取締役 / 映画監督 山口 ヒロキ 氏	一般社団法人AI日本国際映画祭 (AIFJ2025) 代表理事 池田 裕行 氏
モデレーター	
ガウマピクス株式会社 プロダクションマネージャー 寺嶋 千景 氏	

11月20日(木)	
IG-201 10:30▶12:00	
放送局が事業を創る時代へ： 東海テレビ『Edge』の挑戦	
パネリスト 東海テレビ放送株式会社 経営戦略局 統括 戸松 準 氏	株式会社LEO 代表取締役 栗生 万琴 氏
新規事業家 守屋 実 氏	
モデレーター	
株式会社HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子 氏	メディア研究者 (元NHK放送文化研究所) 村上 圭子 氏
IG-202 12:20▶13:20 DCEXPO企画	
間違いだらけの地方創生— リピーターが生む本当の地域活性化	
ソニーマーケティング株式会社 Locatone プロデューサー 安彦 剛志 氏	エイベックス・ミュージック・ クリエイティブ株式会社 ゼネラルディレクター 中前 省吾 氏
IG-203 13:40▶14:40 DCEXPO企画	
独自進化を遂げる中東のAI戦略	
参加テレビ局	
日本テレビホールディングス株式会社 経営戦略局 経営戦略部 兼 R&D ラボ 主任 福井 崇博 氏	株式会社テレビ朝日 経営戦略局 投資戦略部 オープンイノベーション担当部長 増澤 晃 氏
TBSイノベーション・パートナーズ合同会社 代表パートナー 西川 直樹 氏	株式会社テレビ東京 プロデューサー 林 克征 氏
株式会社フジテレビジョン 報道局BS担当部長 兼コンテンツ事業局 デジタルメディア事業部 清水 俊宏 氏	株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社/ Fujiyama Bridge Lab Silicon Valley Branch 萩原 諒 氏
ピッチスタートアップ	
株式会社Classroom Adventure 代表取締役社長 今井 善太郎 氏	株式会社EmbodiyMe 代表取締役社長 吉田 一星 氏
株式会社ロジシティ 代表取締役 / チーフバンジャンパー 野々村 哲弥 氏	株式会社MESON 代表取締役社長 小林 佑樹 氏
株式会社Simplee 代表取締役 諏訪 実奈未 氏	Teracy株式会社 代表取締役 森井 駿介 氏
株式会社 timespace 創業者 CEO 井口 尊仁 氏	株式会社ロジック・アンド・デザイン ビジネスデザイン部長 坂井 康文 氏
モデレーター	
株式会社HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子 氏	

11月21日(金)	
IG-211 10:30▶11:30	
アオハルのまま、メディアを変える	
パネリスト 株式会社HA-LU 代表取締役 岡 春翔 氏	ゲスト出演 スタートアップファクトリー 代表 鈴木 おさむ 氏
モデレーター	
株式会社HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子 氏	
IG-212 11:50▶12:50 出展者プレゼン	
Vライバーが聞く・伝える！ 最先端コンテンツ技術のいま:Part2	
参加企業	
ミラカン合同会社 / 国立情報学研究所 山岸研究室 Hapbeat合同会社 / DCCENT HJ CULTURE / EVEN ENT / HelpTech(株)	
モデレーター	
イチナナVライバー 清 楼銘 氏	イチナナVライバー スラたん 氏
IG-213 13:10▶14:00 DCEXPO企画	
AIとだから生み出せる感動へ — AIをフル活用したアート・エンタメ創作の最前線—	
参加企業	
起業家アーティスト / 音楽プロデューサー 一般社団法人起業家アート協会 代表理事 他 麻生 要一 氏	
IG-214 14:20▶15:20 DCEXPO企画	
SIGGRAPH招聘トークセッション： AIとGPUが切り拓くリアルタイム表現の未来	
パネリスト	
Unity Technologies SIGGRAPH2026 Emerging Technologies Chair Jesse Barker 氏	スクウェア・エニックス リードAI/リサーチ 東京大学 生産技術研究所 特任教授 三宅 陽一郎 氏
モデレーター	
慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 (KMD) 教授 南澤 孝太 氏	
IG-215 15:40▶16:40 DCEXPO企画	
—創賞・匠賞 受賞式 記念トークセッション— ◆第一部 創賞授賞式＋トーク アート&サイエンスで深海を泳ぐ —さかなクン×河口洋一郎が描く“未知の魚”— 国立大学法人東京海洋大学 名誉博士 客員教授 さかなクン 氏	
◆第二部 匠賞授賞式＋トーク 「生命を宿すカタチ:建築とアートの対話」 建築家 藤本 壮介 氏	
モデレーター	
アーティスト 東京大学名誉教授 河口 洋一郎 氏	

INTER BEE MEDIA Biz

メディアの境界がなくなり、ビジネスが加速する。

■ 基調講演

▶会場：国際会議場2F 国際会議室

11月20日 (木)	KN-203 14:45▶16:15			
	メディアの「信頼」を考える			
	モデレーター 日本テレビ放送網株式会社 報道局デジタルグループ リードコンテンツプロデューサー 三日月 儀雄 氏	パネリスト 株式会社 博報堂 メディア環境研究所 山本 泰士 氏	慶應義塾大学 メディア・ コミュニケーション研究所教授 津田 正太郎 氏	東京大学 教授 林 香里 氏

■ 企画セッション

▶会場：展示ホール7 INTER BEE MEDIA Bizオープンステージ

11月19日(水)	
MB-191 11:00▶12:00	
DAZNジャパントップに聞く、 推し活スポーツ配信	
モデレーター	
コンテンツビジネス・ジャーナリスト 長谷川 朋子 氏	
パネリスト DAZN Japan CEO兼アジア事業開発 笹本 裕 氏	株式会社日経BP 日経Gaming編集長 平野 亜矢 氏
MB-192 12:30▶14:00	
一周まわってテレビ ～コンテンツ価値創造の現在地と未来	
モデレーター	
メディアビジョンラボ 代表 奥 律哉 氏	
パネリスト 青山学院大学 総合文化政策学 教授 内山 隆 氏	関西テレビ放送株式会社 コンテンツビジネス局 担当局長 竹内 伸幸 氏
株式会社ビデオリサーチ ビジネスデザインユニット 新規ビジネス開発グループ シニアプロデューサー 松岡 逸美 氏	

MB-193 14:30▶16:00	
世界に通じる最強IPプロデュース力	
モデレーター	
コンテンツビジネス・ジャーナリスト 長谷川 朋子 氏	
パネリスト 株式会社TBSテレビ アニメ映画ビジネス局 アニメ事業部 須藤 孝太郎 氏	株式会社フジテレビジョン IP・アニメ事業局 IP事業部 統括プロデューサー 白田 玄明 氏
ウィットコックティブ合同会社 代表 大島 諭 氏	

MB-194 16:30▶17:30	
変わる制作現場のお値段	
モデレーター	
日本放送協会 コンテンツ制作局 第3制作センター(ドラマ) チーフ・プロデューサー、ドラマ10編集長 渡邊 悟 氏	
パネリスト 株式会社Tutti Create 代表取締役 土屋 勝裕 氏	株式会社イード 代表取締役 杉本 穂高 氏
TOKYO ROCK STUDIO 株式会社 代表取締役 田島 健 氏	

MB-205 ▶日時:11月20日(木) 17:45-19:00	
After Hours 緊急企画！ショート動画プレゼンリレー&交流会	
年々市場規模が拡大を続ける「ショート動画」。2日目に『縦型ショート動画 次の“勝ち筋”はどこだ？』の企画セッションを開催。この流れを受け、ショート動画に関わる方々やクリエイター、これから挑戦する皆様の交流を目的にプレゼンリレー&交流会を実施しました。	

11月20日(木)	
MB-201 10:30▶12:00	
10年後、メディア再編はどう進んでいるか	
モデレーター	
メディアコンサルタント 境 治 氏	
パネリスト ノンフィクション作家 下山 進 氏	京都産業大学 現代社会学部・教授 脇浜 紀子 氏
PwCコンサルティング合同会社 シニアマネージャー 栗原 岳史 氏	
MB-202 12:30▶13:30	
逆リハック 西田二郎vs高橋弘樹 —YouTubeの今と未来—	
モデレーター	
一般社団法人 未来のテレビを考える会 代表理事 西田 二郎 氏	
パネリスト 株式会社tonari 代表取締役社長 高橋 弘樹 氏	

MB-203 14:00▶15:30	
日経エンタテインメント！連動 縦型ショート動画 次の“勝ち筋”はどこだ？	
モデレーター	
株式会社 日経BP 日経エンタテインメント！編集委員 山本 伸夫 氏	
emole株式会社 代表取締役 澤村 直道 氏	株式会社QREATION 代表取締役 米永 圭佑 氏
株式会社GOKKO 代表取締役 田中 聡 氏	

MB-204 16:00▶17:20	
人・お金・ノウハウに乏しいローカル局が、 急激に進むデータ利活用はどう食らいつくか？	
モデレーター	
株式会社TVQ九州放送 コンテンツ戦略局 コンテンツ戦略部 永江 幸司 氏	
パネリスト 株式会社テレビ朝日 ビジネスソリューション本部 インターネット戦略局 データソリューションセンター センター長 横田 慶太 氏	北海道文化放送株式会社 放送システム部 DX推進センター 杉本 歩基 氏

11月21日(金)	
MB-211 10:30▶12:00	
テレビ局のSVOD活用の行く先	
モデレーター	
note株式会社 noteプロデューサー/プロガー 徳力 基彦 氏	
パネリスト HJホールディングス株式会社 事業開発室 室長 香川 翔兵 氏	株式会社フジテレビジョン コンテンツ戦略本部 コンテンツ事業局 プラットフォーム事業 センター室長 野村 和生 氏
TELASA株式会社 編成局次長 渡辺 章太郎 氏	
MB-212 12:30▶13:30	
放送の“非放送化”～IP放送と メディアビジネス構造変革	
モデレーター	
株式会社TBSテレビ メディア戦略局メディア企画部 ゼネラルマネージャー 高澤 宏昌 氏	
パネリスト 一般社団法人 衛星放送協会 事務局次長 齊藤 敏一 氏	株式会社コミュニケーションワークセンター 企画管理本部付/一般社団法人日本ケーブルラボ出向 澤崎 栄治 氏

MB-213 14:00▶15:00	
生成AIの功罪～本格化する 「AI時代」にどう向き合う	
モデレーター	
報道局デジタルグループ リードコンテンツプロデューサー 三日月 儀雄 氏	
パネリスト StoryHub株式会社 代表取締役CEO 田島 将太 氏	武蔵大学 社会学部 メディア社会学科 准教授 宇田川 敦史 氏

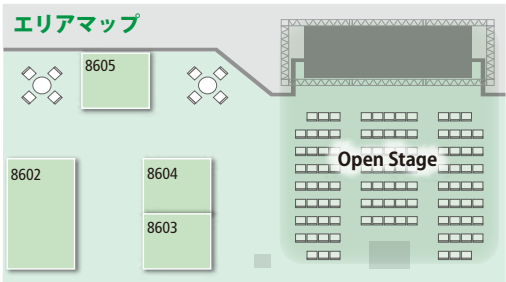
MB-214 15:30▶17:00	
音声プラットフォームが拓く近未来像 ～radiko・Spotify・NHK～	
モデレーター	
株式会社ワイズ・メディア 取締役 メディアストラテジスト 塚本 幹夫 氏	
パネリスト 株式会社radiko 代表取締役社長 池田 卓生 氏	スポティファイジャパン株式会社 代表取締役 トニー・エリソン氏
日本放送協会 メディア編成センター 副部長 三好 正人 氏	

INTER BEE CREATIVE

次世代の映像制作技術を体感、体験した3日間

■ 出展者 ▶会場：展示ホール8

8602 (株)クープ
8603 (株)インショーツ
8604 一般社団法人日本ポストプロダクション協会
8605 (株)IVS41



■ 企画セッション ▶会場：展示ホール8 INTER BEE CREATIVEオープンステージ

11月19日(水)

CR-191 10:30▶11:30

UNREALで切り拓く映像イノベーション
～TBSが取り組む映像制作最前線

株式会社TBSアクト
デジタルクリエイティブ本部
デジタルクリエイティブ推進部
青木 貴則氏

株式会社TBSアクト
デジタルクリエイティブ本部
デジタルクリエイティブ推進部
杉本 憲彦氏

株式会社TBSアクト (TBSテレビ)
スタジオ本部スタジオ照明部
高谷 知宏氏

INTER BEE CREATIVE
ディレクター
結城 崇史氏

CR-192 11:45▶12:45

100年後の火星が教えてくれたこと
—SF映像表現のための、
プロダクション・リデザイン—

日本放送協会
メディア技術局
伊藤 崇仁氏

日本放送協会
メディア技術局
高松 幸弘氏

CR-193 13:00▶13:45

イカゲーム3のプロモーションを支える
ヴォリュームトリックビデオの効果的な使い方

株式会社ニコンクリエイツ
アドバイザー
武田 佳典氏

VFXアーチスト
きむらえいじゅん氏

CR-194 14:00▶14:45

劇場とストーリーミングサービスに広がる次世代
AIコンテンツリパッケージング:
AI Super-ScalerソリューションによるSDから
4Kへのアップスケーリングとプレミアム映像復元

株式会社インショーツ
ソリューション・コンテンツ事業室
ファン・ジンヨン氏

株式会社インショーツ
イ・ゴンちゃん氏

CR-195 15:00▶15:45

MXL:EBU DMFグループが規格化する
メディア交換レイヤー
～ライブ映像をバンター間で相互運用

グラスバレー株式会社
ソフトウェアアーキテクチャ、バイスプレジデント
ヴィンセント トラザール氏

CR-196 16:00▶17:30 日英逐次通訳付き

When AI Meets VFX:The Future
of Visual Storytelling

NVIDIA
Jason Schugardt氏

■ 基調講演 ▶会場：国際会議場2F 201会議室

11月20日(木)

SP-201 10:30▶12:00

京都映画進化論～ 100年を振り返り、次の100年を考える

パネリスト

映画監督
樋口 真嗣氏

京都府助言役(参与)
アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都村長
山下 晃正氏

INTER BEE CREATIVE
ディレクター
結城 崇史氏

東映株式会社 取締役
映像副本部長 京都撮影所長
小嶋 雄嗣氏

松竹株式会社 顧問
株式会社松竹撮影所 代表取締役会長
大角 正氏

11月20日(木) 《Adobe Day 2025》

CR-201 10:20▶11:00 日英逐次通訳付き

ストーリーに差をつける:
Premiereで実現する
高度なエフェクトとモーションデザイン

Adobe
Sr. Product Marketing Manager, Premiere and After Effects
Jason Druss氏

CR-202 11:30▶12:10 日英逐次通訳付き

生成AIで進化する映像制作:
スマートな環境と
強力なストーリーテリング

Adobe
Pro Video & Audio, Sr. Strategic Development Manager
Morgan Prygrocki氏

CR-203 12:50▶13:30

『生成AI導入状況と課題分析』
～ ROI獲得の戦略的アプローチ～

アドビ株式会社
エンタープライズ製品戦略部・シニアソリューションコンサルタント
—メディア領域
熊田 正道氏

CR-204 14:00▶14:40

ここまでできるの!?
プロの現場で役立つFilm Impact活用術

株式会社Command C
映像作家
市井 義彦氏

エディター
佐川 正弘氏

CR-205 15:10▶15:50

カラーマネジメントは
Premiere Proに何をもらすか

アドビ株式会社
マーケティング部
マーケティングマネージャー
田中 玲子氏

株式会社マリモレコース
デジタルシネマクリエーター
江夏 由洋氏

映像プロデューサー/
ジャーナリスト
石川 幸宏氏

CR-206 16:20▶17:00

Substance 3Dを加えることによって
変化する2Dワークフロー！

アドビ株式会社
3Dアーティスト&ソリューションコンサルタント
福井 直人氏

11月21日(金)

CR-211 10:30▶11:15

コマーシャル・フォト編集部がインタビュー
いま注目の映像作家、Shuma Janさんの仕事に迫る

映像作家
Shuma Jan氏

モデレーター
コマーシャル・フォト編集部
編集長
長田 京太郎氏

CR-212 11:30▶12:15

世界の配信・放送技術の動向

ドルビーラボラトリーズ
日本法人社長(兼)東南アジア・大洋州統轄
大沢 幸弘氏

CR-213 13:00▶13:45

『HDRやHFRなどの高度フォーマットを
活かした映像制作と楽しみ方』Part3

株式会社クープ 事業開発本部テクニカル推進室
テクニカルスーパーバイザー デジタルアーカイブコーディネーター
今塚 誠氏

コグニティ株式会社
取締役
小倉 敏之氏

株式会社WOWOW 技術センター
コンテンツ技術ユニット エンジニア
保坂 麻友氏

CR-214 14:00▶14:45

テクノロジーがどう僕たちのクリエイティブを覚醒
するか(VP・AIがもたらすもたらした新たな映像世界)

NVIDIA
Jason Schugardt氏

映像ディレクター
(BABEL LABEL所属)
Vook
曾根 隼人氏

玄光社
VIDEO SALON 編集長
萩原 亮氏

INTER BEE CREATIVE
ディレクター
結城 崇史氏

CR-215 15:00▶15:45

映像業界の脱オンプレは成功への道か?
クラウドに行くシステム・戻るシステム

デル・テクノロジー株式会社 インフラストラクチャー・ソリューションズSE販売本部
データプラットフォームソリューションズ アドバイザリ システム エンジニア
天野 献士氏

テックマトリックス株式会社
ネットワークセキュリティ事業部
第2営業部 プラットフォーム営業課
天瀬 佑氏

CR-216 16:00▶16:45

「新幹線大爆破」制作秘話～
あのショットはこうやって作られた！

TMA1 代表取締役
VFXスーパーバイザー /ディレクター
佐藤 敦紀氏

SPADE&Co.
VFX Supervisor
白石 哲也氏

INTER BEE CREATIVE
ディレクター
結城 崇史氏

INTER BEE CINEMA

プロフェッショナルが集い、次世代を切り拓く映画制作コミュニティ。

映画に特化したコミュニティとして、制作プロフェッショナルが集い最新の動向や技術を発信。
スクリーン拡大や視聴スタイルの多様化により進化を続ける映画市場において、
演出・撮影・照明・録音・編集など制作技術とコンテンツ体験をリードする場を展開しました。
▶協力：日本映画撮影監督協会(JSC)、日本映画・テレビ照明協会(JSL)

■ プロダクト展示エリア ▶会場：展示ホール8

8607 合同会社トワイエイズ
8608 (株)焦点工房
8609 NiSi
8610 富士フイルム(株)
8611 APPOTRONICS International Ltd.
8612 (株)アイ・ディー・エクス
8613 協同組合 日本映画撮影監督協会
8614 三友(株)
8615 一般社団法人日本映画制作適正化機構

■ エクスぺリエンスエリア ▶会場：展示ホール8

シネマカメラにレンズを装着してのルックテストが可能な、「Cinema Lens Bar」を展開しました。

7Artisans
Atlas Lens
Canon
Sigma
FUJINON
LAOWA
TOKINA CINEMA
Viltrox

▶シネマカメラ機材協力:Blackmagic、Canon、FUJIFILM、Nikon、RED、SONY
▶機材協力:(株)アイ・ディー・エクス、KIPON、銀一(株)、(株)三和映材社、EIZO(株)、(株)RAID

■ 企画セッション ▶会場：展示ホール8 INTER BEE CINEMAトークステージ

11月19日(水)

CI-191 10:30▶11:15

シネマレンズトレンドウォッチ2025

合同会社ARGA
代表
太田黒 哲氏

モデレーター
映像ライター
林 永子氏

CI-193 12:00▶12:45

ワンストッププロダクションにおける
撮影部の仕事と役割

株式会社マリモレコース
撮影監督
金戸 聡和氏

モデレーター
映像プロデューサー・
ジャーナリスト
石川 幸宏氏

CI-194 13:00▶13:15 出展者プレゼンテーション

(株)アイ・ディー・エクス

CI-195 13:30▶14:15

「映画監督作品年表」—
監督という職業の時間を見つめて

「映画監督作品年表」編者
川井 拓也氏

モデレーター
映像ライター
林 永子氏

CI-197 15:00▶15:15 出展者プレゼンテーション

合同会社トワイエイズ

CI-198 16:00▶16:30 出展者プレゼンテーション

富士フイルム(株)

CI-199 16:45▶17:30

映適ガイドラインで現場はどう変わったか
～映適作品体験談～

パネリスト

協同組合
日本映画監督協会
中村 義洋氏

一般社団法人
日本映画制作適正化機構
大浦 俊将氏

モデレーター

11月20日(木)

CI-201 10:30▶10:45 出展者プレゼンテーション

(株)アイ・ディー・エクス

CI-202 11:00▶11:45

「HANA-BI」「パッチギ」「フラガールから最新作まで
撮影監督 山本英夫が語る、
日本映画30年の撮影機材の変貌

日本映画撮影監督協会(JSC)
撮影監督
山本 英夫氏

モデレーター
映像プロデューサー・
ジャーナリスト
石川 幸宏氏

CI-203 12:00▶12:15 出展者プレゼンテーション

合同会社トワイエイズ

CI-204 13:00▶14:15

モーションフィルムの現在地。
パート1:フィルムカメラ タッチ&トライ/
構造解説とデジタルシネマ比較

映像技術プロデューサー・スーパーバイザー
株式会社東北新社
クリエイティブセンター
TFCPPlus 撮影部長代理
細田 淳一氏

モデレーター
日本映画撮影監督協会(JSC)
映画カメラマン
御木 茂則氏

CI-205 14:30▶15:30

モーションフィルムの現在地。
パート2:フィルム&デジタルカメラ パネルディスカッション

日本映画撮影監督協会(JSC)
撮影監督
山本 英夫氏

日本映画撮影監督協会(JSC)
撮影監督
上野 彰吾氏

株式会社オムニバスジャパン
広告ポストセンター
カラーグレーディングチーム
小林 亮太氏

日本映画撮影監督協会(JSC)
映画カメラマン
御木 茂則氏

日本映画撮影監督協会(JSC)
撮影監督
会田 正裕氏

CI-206 15:45▶16:00 出展者プレゼンテーション

三友(株)

CI-207 16:15▶17:00

カメラ開発者視点から見る
「フィルムライク」考察

映像技術コンサルタント
石井 芳季氏

モデレーター
映像機器評論家
小寺 信良氏

エリアマップ

エクスぺリエンスエリア
Cinema Lens Bar

プロダクト展示エリア

■ 基調講演

▶会場：国際会議場2F 国際会議室

11月21日(金)

KN-213 15:00▶16:00

映画『侍タイムスリッパー』制作の舞台裏

映画監督
安田 淳一氏

11月21日(金)

CI-211 10:30▶11:15

ジオラマ風撮影技法と
映像クリエイターによる地域活性化

映像クリエイター
じおらま富山、/ Art by Wally氏

モデレーター
合同会社lim
代表
山下 ミカ氏

CI-212 11:45▶12:30

最新シネマカメラ放談

株式会社東北新社
OND'クリエイティブセンター撮影部
湯越 慶太氏

映像機器評論家
小寺 信良氏

CI-213 13:00▶13:45

MPTE勉強会特別企画
映画「国宝」の“音”が魅せる技術 について

ゲスト
GIANTPEACH株式会社
Sound Designer
白取 貢氏

モデレーター
三友株式会社
Sound Supervisor
村越 宏之氏

CI-215 15:30▶16:15

女性監督の視点:2025年から
2026年へ、変化し続ける映像制作現場

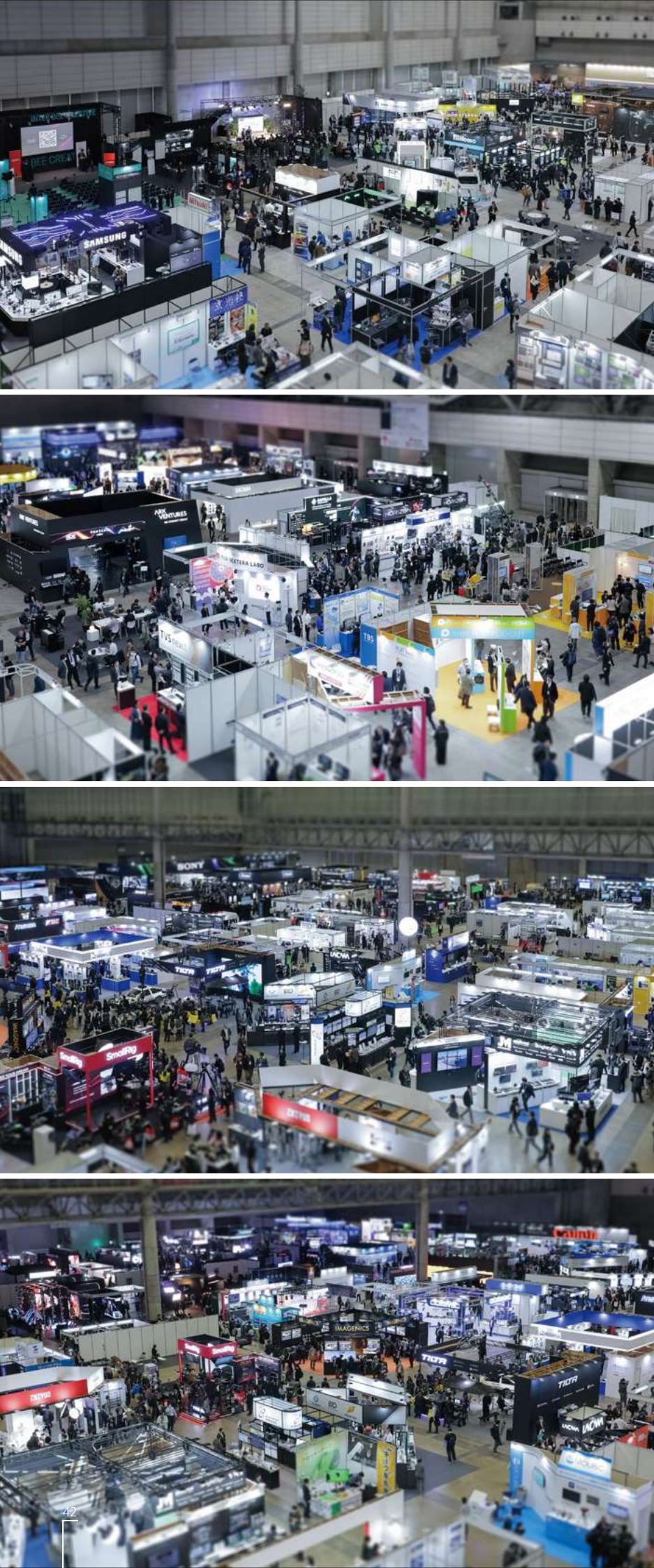
パネリスト

映画監督・脚本家・写真家
枝 優花氏

Film Director
映画監督
中根 さや香氏

映像ライター
林 永子氏

オーディオ部門		
あ	2401 (株)アートワズ	
	2514 (株)アートボックスクリエイト	
	2509 (有)アイアシシステム	
	2417 (株)アイコニック	
	2609 iZotope	
	2202 アシタ音響 (株)	
	2204 アツデン (株)	
	2519 アプローチシステム (株)	
	2518 ALT Waves Management	
	3101 (株)アンプレラカンパニー	
	2613 ear focus	
	3116 EASS INC.	
	3111 イースベック (株)	
	3112 イースベック (株)	
	2612 Waves	
	2406 AV-Leader Corporation	
	2507 A.O.M. (株)	
	3110 エクストリームウェーブ	
	2002 (株)エス・シー・アライアンス SCA サウンドソリューションズ社	
	2512 エヌディーアイジャパン (株)	
	か	2508 (株)エミライ
2209 L-Acoustics Pte. Ltd.		
3218 (株)エレクトリ		
2306 (株)オーディオテクニカ		
2619 (株)オーディオブレインズ		
2606 AURAL SONIC・東京銅鐵工業 (株)		
2304 音響特機 (株)		
2502 オンズ (株)		
2414 (株)カエルワークス		
2519 Catch M4 (株)		
2415 (株)クレセント		
2413 コーンズテクノロジー (株)		
2513 コモドマッティーナ /TAIDEN		
3109 コンチネンタルファーマーイースト (株)		
3108 Soundwhale		
3114 Saramonic		
2517 三研マイクロホン (株)		
3103 (株)サンフォニックス		
2501 (株)ジェネレックジャパン		
き		2303 (株)静科
		3412 シュア・ジャパン (株)
	2601 (株)シンタックスジャパン	
	2607 シンテック (株)	
	3107 (株)スタジオイクイブメント	
	2604 (株)須山歯研	
	2405 Slapton Sound. Viviana Sound Solutions	
	2210 セカンドステージ (株)	
	2208 ゼンハイザージャパン (株)	
	2521 ソリッドステートロジックジャパン (株)	
	3117 宝電機工業 (株)	
	2618 タスカム / ティアック (株)	
	2207 (株)タムラ製作所	
	2615 Dante by Audinate	
	3219 ディアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン (株)	
	3115 (株)DS	
	2516 ディーエスピージャパン (株)	
	2505 (株)ティビット	
	2504 (有)Digicom	
	け	2614 (株)デジタル・ラボラトリー
		2608 (株)ナイスカンパニー
2403 日本エレクトロ・ハーモニックス (株)		
3218 日本音響エンジニアリング (株)		
2416 日本テックトラスト (株)		
2510 公益社団法人日本舞台音響家協会		
2511 日本舞台音響事業協同組合		
2411 特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会		
2409 ネオス (株)		
2409 next Sound (株)		
2602 ノイトリック (株)		
2001 花岡無線電機 (株)		
2407 (有)パブリックアドレス		
2515 (有)パルリス		
2209 ビーテック (株)		
3218 ヒビノ (株)		
3413 ヒビノ (株)		
3218 ヒビノイマジニアリング (株)		
3413 ヒビノインターサウンド (株)		
こ		4201 NIXUS by 日興通信
		8410 (株)ニコン
	8410 (株)ニコンイメージングジャパン	
	5403 ニッキヤビ (株) / (有)プランネット	
	8403 (株)日進映像研究所	
	5104 日鉄溶接工業 (株)	
	3502 日本オラル (株)	
	4408 日本シーゲイト (株)	
	8402 日本通信機 (株)	
	3001 (株)日本ビデオシステム	
	7411 日本無線 (株)	
	5508 日本ラッド (株)	
	8312 Nextorag4 (株)	
	4213 ネットギアジャパン合同会社	
	3205 ネットワークエレクトロニクスジャパン (株)	
	4608 ノックス (株)	
	6103 Harmonic Japan 合同会社	
	5109 (株)バイオス	
	3502 Hydrolux, Inc.	
	さ	8213 (株)パオックス
		4001 箱馬 × メタルトイズ
6512 パナソニック コネクト (株)		
3304 原田産業 (株)		
4210 パルコム (株)		
5107 PANTHER GmbH		
5103 (株)バンデイロ・ミュージック		
5509 バンドウイットコーポレーション日本支社		
3502 BCNEXXT BV		
5113 (株)ビーテック		
3208 Pixellot Automatic Production		
4307 ビデオトロン (株)		
3410 ヒビノ (株)		
3410 ヒビノグラフィックス (株)		
3210 Vimeo Japan, K.K		
4213 ビューソニックジャパン		
8311 平河ヒューテック (株)		
4504 ヒロテック (株)		
せ		5512 VSGO
		4213 VPS
		4513 フォーティネットジャパン合同会社
	8219 (株)フォトロン	
	8107 (株)フォトロン HARBOR	
	3502 Fonn Group AS	
	7306 (株)フジ・ネクスセラ・ラボ	
	5310 富士フイルム (株)	
	5203 (株)府中技研	
	5504 (株)芙蓉ビデオエイジェンシー	
	7210 フラウンホーファー IIS	
	4211 ブラックボックス・ネットワークサービス (株)	
	8503 ブラックマジックデザイン (株)	
	4609 (株)フラッシュバックジャパン	
	8220 プリミックス (株)	
	3309 BLUEDOT INC.	
	4308 (株)PLAY	
	5304 プロロードデザイン (株)	
	3302 (株)プロスパー電子	
	た	4519 Prolight + Sound Guangzhou
		3409 Beijing EnlightTV Technology Co., Ltd.
3409 Beijing HongrunFuton Technology Co., Ltd.		
4213 ペガプロジェクト (株)		
7516 BENRO		
7313 (株)朋栄		
4003 (株)放送技研		
5201 HOLLYLAND		
3502 マイクロソフト		
5205 (株)マウビック		
3217 Macro Image Technology, Inc.		
7415 マシュース スタジオ エクイップメント		
4613 (有)ミサオネットワーク		
7415 ミソニクス		
8316 三井物産エアロスペース (株)		
8408 三友 (株)		
3216 ミハル通信 (株)		
3408 (株)宮地商会		
3308 (株)メイコー		
ま		4002 メタルトイズ
		4207 (株)メディアリンクス
	4503 (株)モリサワ	
	め	
や		4405 YUAN HIGH-TECH DEVELOPMENT CO., LTD.
		7209 (株)ユニテックス
	8321 (株)よしみカメラ	
	8104 YoloLiv Technology	
	8108 LiveU Japan (株)	
	4206 (株)ラグナヒルズ	
	4401 (株)ラムダシステムズ	
	5218 リーダー電子 (株)	
	5004 Riedel Communications GmbH	
	5103 (株)リガール・ミュージック	
	4602 (株)理経	
	5003 (株)RIP-TIE	
	3406 LYNX Technik	
	4213 (株)リンディー・ジャパン	
	8317 (株)RAID	
	3409 Leyard Optoelectronics Co., Ltd.	
	7213 (株)レスター	
	4303 REC システム (株)	
	8410 RED Digital Cinema	
	ら	6106 LEDMAN Optoelectronic
		3502 Reuters Imagen
5116 ローランド (株)		
5511 (株)和映		
6211 WONDER VISION TECHNO LABORATORY (株)		
INTER BEE CINEMA		
— プロダクト展示 —		
8612 (株)アイ・ディー・エクス		
8611 APPOTRONICS International Ltd.		
8608 (株)焦点工房		
8607 合同会社トワイエイゾ		
8609 NiSi		
8613 協同組合 日本映画撮影監督協会		
8615 一般社団法人日本映画制作適正化機構		
8610 富士フイルム (株)		
8614 三友 (株)		
— レンズ展示 —		
8606 Atlas Lens Co.		
8606 映像嵐 (株)		
8606 キヤノン (株) / キヤノンマーケティングジャパン (株)		
8606 (株)ケンコープロフェッショナルイメージング		
8606 (株)サイトロンジャパン		
8606 (株)シグマ		
8606 (株)焦点工房		
8606 富士フイルム (株)		
に	エンターテインメント / ライティング部門	
	6407 RGB Shine (HK) Technology Limited	
	6605 アガイ商事 (株)	
	6408 アビックス (株)	
	6511 Aputure Imaging Industries Co.,LTD	
	6203 イメージビジョン (株)	
	6509 Valerion	
	6601 ヴィーナスレーザー (株)	
	6204 (株)ガイレッジアイランド	
	6503 Ai Pixel CO., LTD.	
	6201 (株)X NEXT	
	6501 Onumen Technology Co.,Ltd.	
	6502 Colorlight Cloud Tech Ltd	
	6604 一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会	
	6303 シーイヤー (株)	
	6502 Shenzhen Vistech Technology Co.,Ltd	
	6208 Shenzhen Glosheen Technology Co., Ltd	
	6402 Shenzhen Scenico Optoelectronic Co. Ltd.	
	6403 Shenzhen XINTAI Photoelectric CO.,LTD	
	ひ	6506 Shenzhen Fabulux Technology Co., Ltd.
		6308 Shenzhen Lightlink Display Technology Co., Ltd
6505 Shenzhen Liantronics Co., Ltd.		
6306 SHENZHEN SOSTRON TECHNOLOGY CO., LTD.		
6603 (株)studio boka		
6302 スタンレー電気 (株)		
6001 (株)テイク		
6603 (株)データ・アート		
6205 (株)トライサイト		
6510 NANLITE / NANLUX / GUTEX		
6002 Hyundai Fomex Co., Ltd.		
6404 ProFound		
6508 プロフォト (株)		
6305 Beijing OPENMOON Trading Co. Ltd		
6206 (株)マイルランテック		
ふ		
	ぶ	
ぱ		
	ぴ	
ぽ		
	ぷ	
ぺ		
	ぽ	
ぴ		
	ぷ	
ぺ		
	ぽ	
ぽ		
	ぽ	
ぽ		
	ぽ	
ぽ		
ぽ		
ぽ		
ぽ		
ぽ		
ぽ		



映像制作/放送関連機材部門

メディア・ソリューション部門



映像制作/放送関連機材部門



映像制作/放送関連機材部門

プロオーディオ部門

Hall 3

Hall 2

ケイクラフ

プロオーディオ部門

3413
HIBINO

3219
d&b audiotechnik

2619
AUDIO BRAINS

2307
YAMAHA

2210
2nd Stage

3503
OTARITEC

3412
シュア・
ジャパン

3218
ヒビノイマジニアリング/
ヒビノスペーステック/
ヒビノライティング/
エレクトリ
日本音響エンジニアリング

3122 3121
星野
楽器販売 リワイアー

2416
日本テックトラスト

2417
アイコニック
2415
クレセント/
読売テレビ放送

2306
オーディオ
テクニカ

2209
L-Acoustics/
ベストオーディオ/
ピーテック

3502
JEITA Global AI Cloud Pavilion/
アマゾン ウェブ サービス ジャパン/
日本オラクル/マイクロソフト/
Amagi/M2A Media/TVU Networks/
Hydrolix/BCNEXXT/
Forn Group/
Reuters Imagen

3411
アカマイ・
テクノロジー

3410
ヒビノ/
ヒビノグラフィックス/
テクノハウス

3212
LED TOKYO

3409
中国映画テレビ技術学会
3408
宮地商会

3210
Vimeo Japan
3211
グラフィカ/
アドバンス・ブルーム
3209
東通
インター
ナショナル

3407
ガンズイ
3404
SET
LYNX Technik
3414
電波産業会
3405
NAXA
3415
NAB Show

3403
摂津金属工業
3402
アプコット
3401
川崎重工業

3309
インテリジェントウェブ/
BLUEDOT
3308
メイコー
セイコーソリューションズ
原田産業
3304
アスコット
3305
アスコット
3306
アスコット
3302
オンス
3307
オンス
3301
Audio
Network
Japan
Studio-J Consulting
デバイス
3001
日本ビデオシステム

3208
Pixelot
Automatic
Production
3206
KEYAKI
3205
KEYAKI

3203
アスコット
3202
サムウェイ
3201
ウェブプラス

3119
ルミネックス
ジャパン
3117
宝電機工業
3116
EASS

3114
Saramonic
3113
BOYA
3112
イースベック
3111
DS
イースベック

3107
Soundwhale
3106
コンチネンタルファースト
クリエイト
3105
マズ
エフ
3104
エクストリーム
ウェブ
3103
フォービット
スタジオイクイメント
3102
サン
フォニックス
3101
サン

3108
Soundwhale
3107
コンチネンタルファースト
クリエイト
3106
コンチネンタルファースト
クリエイト
3105
マズ
エフ
3104
エクストリーム
ウェブ
3103
フォービット
スタジオイクイメント
3102
サン
フォニックス
3101
サン

3108
Soundwhale
3107
コンチネンタルファースト
クリエイト
3106
コンチネンタルファースト
クリエイト
3105
マズ
エフ
3104
エクストリーム
ウェブ
3103
フォービット
スタジオイクイメント
3102
サン
フォニックス
3101
サン

3108
Soundwhale
3107
コンチネンタルファースト
クリエイト
3106
コンチネンタルファースト
クリエイト
3105
マズ
エフ
3104
エクストリーム
ウェブ
3103
フォービット
スタジオイクイメント
3102
サン
フォニックス
3101
サン

3108
Soundwhale
3107
コンチネンタルファースト
クリエイト
3106
コンチネンタルファースト
クリエイト
3105
マズ
エフ
3104
エクストリーム
ウェブ
3103
フォービット
スタジオイクイメント
3102
サン
フォニックス
3101
サン

2618
タスカム/
ティアック
2617
MASCOT
ELECTRIC

2615
Dante by
Audinate
2616
ラディウス
2614
デジタル・
ラボラトリー
2613
ear
focus

2618
タスカム/
ティアック
2617
MASCOT
ELECTRIC

2615
Dante by
Audinate
2616
ラディウス
2614
デジタル・
ラボラトリー
2613
ear
focus

2618
タスカム/
ティアック
2617
MASCOT
ELECTRIC

2615
Dante by
Audinate
2616
ラディウス
2614
デジタル・
ラボラトリー
2613
ear
focus

2618
タスカム/
ティアック
2617
MASCOT
ELECTRIC

2521
ソリッド
ステート
ロジック
ジャパン
2520
ユースド
ネット
2519
アブローズシステム/Catch Me
ALT Waves Management
2517
三研
マイクロ
ホン
2518
バルス
2516
ディーエスピー
ジャパン
2515
バルス
2514
アートボックス
クリエイト
2513
コモドマッティナ/
TAIDEN
2512
エヌティーアイジャパン
2511
アイアシステム
2510
アイアシステム
2509
アイアシステム
2508
アイアシステム
2507
アイアシステム
2506
アイアシステム
2505
アイアシステム
2504
アイアシステム
2503
アイアシステム
2502
アイアシステム
2501
アイアシステム

2521
ソリッド
ステート
ロジック
ジャパン
2520
ユースド
ネット
2519
アブローズシステム/Catch Me
ALT Waves Management
2517
三研
マイクロ
ホン
2518
バルス
2516
ディーエスピー
ジャパン
2515
バルス
2514
アートボックス
クリエイト
2513
コモドマッティナ/
TAIDEN
2512
エヌティーアイジャパン
2511
アイアシステム
2510
アイアシステム
2509
アイアシステム
2508
アイアシステム
2507
アイアシステム
2506
アイアシステム
2505
アイアシステム
2504
アイアシステム
2503
アイアシステム
2502
アイアシステム
2501
アイアシステム

2521
ソリッド
ステート
ロジック
ジャパン
2520
ユースド
ネット
2519
アブローズシステム/Catch Me
ALT Waves Management
2517
三研
マイクロ
ホン
2518
バルス
2516
ディーエスピー
ジャパン
2515
バルス
2514
アートボックス
クリエイト
2513
コモドマッティナ/
TAIDEN
2512
エヌティーアイジャパン
2511
アイアシステム
2510
アイアシステム
2509
アイアシステム
2508
アイアシステム
2507
アイアシステム
2506
アイアシステム
2505
アイアシステム
2504
アイアシステム
2503
アイアシステム
2502
アイアシステム
2501
アイアシステム

2521
ソリッド
ステート
ロジック
ジャパン
2520
ユースド
ネット
2519
アブローズシステム/Catch Me
ALT Waves Management
2517
三研
マイクロ
ホン
2518
バルス
2516
ディーエスピー
ジャパン
2515
バルス
2514
アートボックス
クリエイト
2513
コモドマッティナ/
TAIDEN
2512
エヌティーアイジャパン
2511
アイアシステム
2510
アイアシステム
2509
アイアシステム
2508
アイアシステム
2507
アイアシステム
2506
アイアシステム
2505
アイアシステム
2504
アイアシステム
2503
アイアシステム
2502
アイアシステム
2501
アイアシステム

2521
ソリッド
ステート
ロジック
ジャパン
2520
ユースド
ネット
2519
アブローズシステム/Catch Me
ALT Waves Management
2517
三研
マイクロ
ホン
2518
バルス
2516
ディーエスピー
ジャパン
2515
バルス
2514
アートボックス
クリエイト
2513
コモドマッティナ/
TAIDEN
2512
エヌティーアイジャパン
2511
アイアシステム
2510
アイアシステム
2509
アイアシステム
2508
アイアシステム
2507
アイアシステム
2506
アイアシステム
2505
アイアシステム
2504
アイアシステム
2503
アイアシステム
2502
アイアシステム
2501
アイアシステム

2521
ソリッド
ステート
ロジック
ジャパン
2520
ユースド
ネット
2519
アブローズシステム/Catch Me
ALT Waves Management
2517
三研
マイクロ
ホン
2518
バルス
2516
ディーエスピー
ジャパン
2515
バルス
2514
アートボックス
クリエイト
2513
コモドマッティナ/
TAIDEN
2512
エヌティーアイジャパン
2511
アイアシステム
2510
アイアシステム
2509
アイアシステム
2508
アイアシステム
2507
アイアシステム
2506
アイアシステム
2505
アイアシステム
2504
アイアシステム
2503
アイアシステム
2502
アイアシステム
2501
アイアシステム

2521
ソリッド
ステート
ロジック
ジャパン
2520
ユースド
ネット
2519
アブローズシステム/Catch Me
ALT Waves Management
2517
三研
マイクロ
ホン
2518
バルス
2516
ディーエスピー
ジャパン
2515
バルス
2514
アートボックス
クリエイト
2513
コモドマッティナ/
TAIDEN
2512
エヌティーアイジャパン
2511
アイアシステム
2510
アイアシステム
2509
アイアシステム
2508
アイアシステム
2507
アイアシステム
2506
アイアシステム
2505
アイアシステム
2504
アイアシステム
2503
アイアシステム
2502
アイアシステム
2501
アイアシステム

2414
カエル
ワークス
2413
コーンズ
テクノロジー
2412
フルクリム
アカoustics
Japan
2411
LYYL
2410
LYYL
2409
ネオス/
next
Sound
2408
FENDER MUSIC CORPORATION
JAPAN PRESONUS
2407
パブリック
アドレス
2406
AV-Leader
2405
Lake People
Audio
2404
フォステクスカンパニー
2403
Slapton Sound,
Viviana Sound
Solutions
2402
エレクトロ
ハーモ
ニックス
2401
アートウィズ
2400
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2399
モアソン
ジャパン
2398
花岡無線電機

2414
カエル
ワークス
2413
コーンズ
テクノロジー
2412
フルクリム
アカoustics
Japan
2411
LYYL
2410
LYYL
2409
ネオス/
next
Sound
2408
FENDER MUSIC CORPORATION
JAPAN PRESONUS
2407
パブリック
アドレス
2406
AV-Leader
2405
Lake People
Audio
2404
フォステクスカンパニー
2403
Slapton Sound,
Viviana Sound
Solutions
2402
エレクトロ
ハーモ
ニックス
2401
アートウィズ
2400
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2399
モアソン
ジャパン
2398
花岡無線電機

2414
カエル
ワークス
2413
コーンズ
テクノロジー
2412
フルクリム
アカoustics
Japan
2411
LYYL
2410
LYYL
2409
ネオス/
next
Sound
2408
FENDER MUSIC CORPORATION
JAPAN PRESONUS
2407
パブリック
アドレス
2406
AV-Leader
2405
Lake People
Audio
2404
フォステクスカンパニー
2403
Slapton Sound,
Viviana Sound
Solutions
2402
エレクトロ
ハーモ
ニックス
2401
アートウィズ
2400
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2399
モアソン
ジャパン
2398
花岡無線電機

2414
カエル
ワークス
2413
コーンズ
テクノロジー
2412
フルクリム
アカoustics
Japan
2411
LYYL
2410
LYYL
2409
ネオス/
next
Sound
2408
FENDER MUSIC CORPORATION
JAPAN PRESONUS
2407
パブリック
アドレス
2406
AV-Leader
2405
Lake People
Audio
2404
フォステクスカンパニー
2403
Slapton Sound,
Viviana Sound
Solutions
2402
エレクトロ
ハーモ
ニックス
2401
アートウィズ
2400
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2399
モアソン
ジャパン
2398
花岡無線電機

2414
カエル
ワークス
2413
コーンズ
テクノロジー
2412
フルクリム
アカoustics
Japan
2411
LYYL
2410
LYYL
2409
ネオス/
next
Sound
2408
FENDER MUSIC CORPORATION
JAPAN PRESONUS
2407
パブリック
アドレス
2406
AV-Leader
2405
Lake People
Audio
2404
フォステクスカンパニー
2403
Slapton Sound,
Viviana Sound
Solutions
2402
エレクトロ
ハーモ
ニックス
2401
アートウィズ
2400
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2399
モアソン
ジャパン
2398
花岡無線電機

2414
カエル
ワークス
2413
コーンズ
テクノロジー
2412
フルクリム
アカoustics
Japan
2411
LYYL
2410
LYYL
2409
ネオス/
next
Sound
2408
FENDER MUSIC CORPORATION
JAPAN PRESONUS
2407
パブリック
アドレス
2406
AV-Leader
2405
Lake People
Audio
2404
フォステクスカンパニー
2403
Slapton Sound,
Viviana Sound
Solutions
2402
エレクトロ
ハーモ
ニックス
2401
アートウィズ
2400
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2399
モアソン
ジャパン
2398
花岡無線電機

2414
カエル
ワークス
2413
コーンズ
テクノロジー
2412
フルクリム
アカoustics
Japan
2411
LYYL
2410
LYYL
2409
ネオス/
next
Sound
2408
FENDER MUSIC CORPORATION
JAPAN PRESONUS
2407
パブリック
アドレス
2406
AV-Leader
2405
Lake People
Audio
2404
フォステクスカンパニー
2403
Slapton Sound,
Viviana Sound
Solutions
2402
エレクトロ
ハーモ
ニックス
2401
アートウィズ
2400
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2399
モアソン
ジャパン
2398
花岡無線電機

2305
松田通商
2304
音響特機
2303
静科
2302
メディア
プラス
2301
ポーズ
プロフェッショナル
2300
アートウィズ
2299
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2298
モアソン
ジャパン
2297
花岡無線電機

2305
松田通商
2304
音響特機
2303
静科
2302
メディア
プラス
2301
ポーズ
プロフェッショナル
2300
アートウィズ
2299
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2298
モアソン
ジャパン
2297
花岡無線電機

2305
松田通商
2304
音響特機
2303
静科
2302
メディア
プラス
2301
ポーズ
プロフェッショナル
2300
アートウィズ
2299
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2298
モアソン
ジャパン
2297
花岡無線電機

2305
松田通商
2304
音響特機
2303
静科
2302
メディア
プラス
2301
ポーズ
プロフェッショナル
2300
アートウィズ
2299
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2298
モアソン
ジャパン
2297
花岡無線電機

2305
松田通商
2304
音響特機
2303
静科
2302
メディア
プラス
2301
ポーズ
プロフェッショナル
2300
アートウィズ
2299
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2298
モアソン
ジャパン
2297
花岡無線電機

2305
松田通商
2304
音響特機
2303
静科
2302
メディア
プラス
2301
ポーズ
プロフェッショナル
2300
アートウィズ
2299
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2298
モアソン
ジャパン
2297
花岡無線電機

2305
松田通商
2304
音響特機
2303
静科
2302
メディア
プラス
2301
ポーズ
プロフェッショナル
2300
アートウィズ
2299
エス・シー・アライアンス
SCAサウンドソリューションズ社
2298
モアソン
ジャパン
2297
花岡無線電機

2208
ゼンハイザー
ジャパン
2207
タムラ製作所
2206
モガミ電線
2205
ミックス
ウェア
2204
アッデン
2203
アッデン
2202
アッデン
2201
アッデン

2208
ゼンハイザー
ジャパン
2207
タムラ製作所
2206
モガミ電線
2205
ミックス
ウェア
2204
アッデン
2203
アッデン
2202
アッデン
2201
アッデン

2208
ゼンハイザー
ジャパン
2207
タムラ製作所
2206
モガミ電線
2205
ミックス
ウェア
2204
アッデン
2203
アッデン
2202
アッデン
2201
アッデン

2208
ゼンハイザー
ジャパン
2207
タムラ製作所
2206
モガミ電線
2205
ミックス
ウェア
2204
アッデン
2203
アッデン
2202
アッデン
2201
アッデン

2208
ゼンハイザー
ジャパン
2207
タムラ製作所
2206
モガミ電線
2205
ミックス
ウェア
2204
アッデン
2203
アッデン
2202
アッデン
2201
アッデン

2208
ゼンハイザー
ジャパン
2207
タムラ製作所
2206
モガミ電線
2205
ミックス
ウェア
2204
アッデン
2203
アッデン
2202
アッデン
2201
アッデン

2208
ゼンハイザー
ジャパン
2207
タムラ製作所
2206
モガミ電線
2205
ミックス
ウェア
2204
アッデン
2203
アッデン
2202
アッデン
2201
アッデン

INTER BEE
EXPERIENCE
X-Headphone
2102 STAX
2103 オーディオテクニカ
2104 アユート
2105 ヤマハミュージックジャパン
X-Microphone
2101 ローランド
2106 ヤマハミュージックジャパン



Result: Publication and Promotion

■ 広報活動(プレスリリース配信実績)

- *出展募集開始告知リリース(3/3)
- *来場事前登録開始リリース(10/1)
- *開幕告知リリース(11/18)
- *『INTER BEE AWARD』部門賞告知リリース(11/20)
- *幕張メッセ期間終了リリース(11/21)

■ プレス登録者数

213名(うち海外プレス6名)

■ Inter BEE 2025 関連記事掲載WEB NEWS (一部) ※順不同

ASCII.jp	niftyニュース	TM Broadcast INTERNATIONAL	とれまがニュース
AV Watch	Oricon News	VIDEO SALON	ニコニコニュース
CAMERA fan	PANORA VIRTUAL REALITY JAPAN	Yahoo! ニュース	ライブドアニュース
Devcafe	PHILE WEB	イベントマーケティング	朝日新聞
INTERNET Watch	PR TIMES	新Screens	電波新聞デジタル
IT media NEWS	PRONews	デジカメWatch	毎日新聞
MICE TIMES ONLINE	Stereo Sound ONLINE	展示会レポート(展示会ちゃんねる)	
mixiニュース	THE MAP TIMES	東京Days ニュース	

■ Inter BEE 2025 関連記事掲載紙誌 (一部) ※順不同

B-maga	ビデオ通信	見本市展示会通信	日刊工業新聞
PRONews	映像新聞	千葉日報	日経産業新聞
TVTechnology	月刊 ネット販売	電波タイムズ	
イベントマーケティング	月刊「フルデジタル・イノベーション」(FDI)	電波技術協会報(FORN)	

■ 広告掲載※WEBバナー含む

電波技術協会・協会報FORN	TV Technology	VIDEO SALON	特ラ機構レポート
月刊イベントマーケティング	Branc	ビデオ通信	公益社団法人 日本照明家協会
新Screens	電線新聞	Yahoo! ニュース	リットーミュージック
PRONews	電波新聞	映画撮影	月刊「放送技術」
Vook	電波タイムズ	月刊『B-maga』	KOBA
Aperza	映像新聞	特定非営利法人(NPO)日本ビデオコミュニケーション協会	

■ Inter BEE 2025 放映実績

放送日	局	番組名	放送日	局	番組名
11月14日(金)	BayFM78	AWAKE	11月20日(木)	ABEMA-TV	ABEMA Morning #1
11月19日(水)	テレビ朝日	大下容子のワイド!スクランブル			ABEMA Morning #2 (再)
	ABEMA-TV	ABEMA News	11月21日(金)	ラジオ日本	Happy Voice from YOKOHAMA
	千葉テレビ	newsチバ 21:30	11月29日(土)	フジテレビ	フジテレビ批評



■ Inter BEE Official Mail Magazine

経年的に蓄積している来場者データベースに向けて最新情報を配信。

2025年1月～12月：
※2025年12月4日現在

◆配信回数

44回

◆1回の配信総数

111,606件



■ 公式 X

◆フォロワー数：

5,793名

(前年比110.4%)

◆投稿数：

293名

◆ポストインプレッション：

8,441,343件
(2025年1月～12月)



■ 公式Facebook

◆フォロワー数：

6,226名

(前年比103.1%)

◆投稿数：

190件

◆年間閲覧数：

約2,900,000件



■ メディアパートナー

関連業界紙誌にはメディアパートナーとしてInter BEEをサポートいただき、多くの出展者の記事を掲載いただいています。

apérza	TVTechnology	Branc	AV Watch	映像新聞	EVENT MARKETING	PHILEWEB
ビデオSALON	CAMERA fan	Shuffle	PICTURES	放送技術	OPTICA	電線新聞
サテマガBi	Stereo Sound ONLINE	Hivi	PROSOUND	通信興業新聞社	HOTSHOT	電波新聞
電波タイムズ	FILM DIGITAL TIMES	Stage Sound Journal	新Screens	PRONews	UNIPRESS SERVICE	FDI

■ Inter BEE 公式 Website

◆サイト訪問数 (2025年3月～12月)：

809,326セッション

Inter BEEの出展者情報やプレスリリースを
オンライン上で発信。
関連イベントや業界の話題性の高い情報を、
年間を通じてお届けしています。

Online Magazine

記事掲載数：

86件



■ 公式Instagram

◆フォロワー数：

2,647名

(前年比123.2%)

◆投稿数：

174件



■ 公式Youtube

◆登録者数：

約2110名

(前年比123.2%)

◆再生数：

448,908回
(2025年1月～2025年12月)

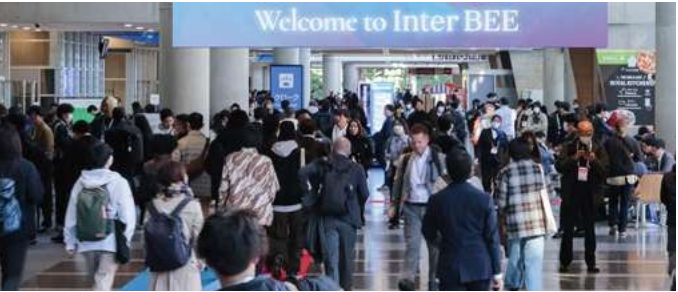


Result: Visitor Profile

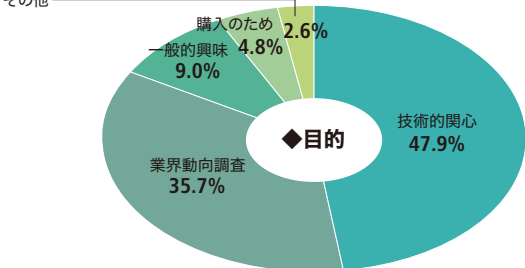
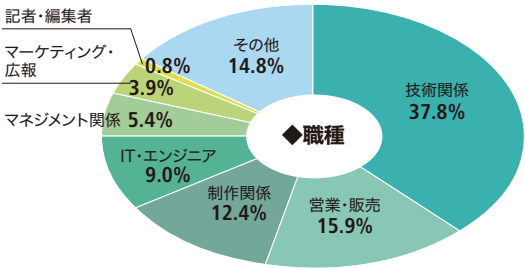
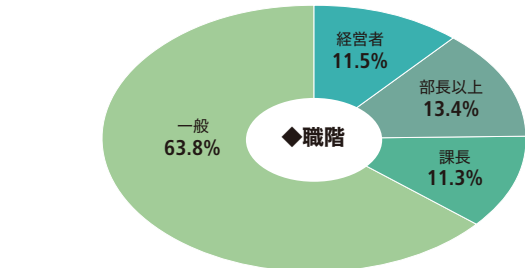
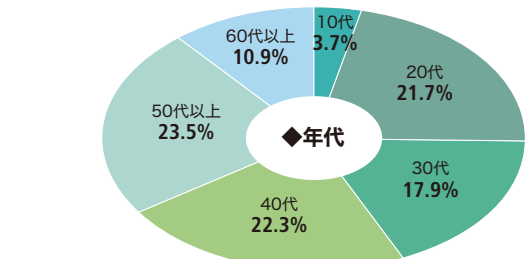
日別登録来場者数

	11/19(水)	11/20(木)	11/21(金)	合計
国内登録来場者数	11,704	11,083	10,250	33,037
海外登録来場者数	556	303	176	1,035
合 計	12,260	11,386	10,426	34,072

登録来場者数：34,072名



来場者の属性



来場登録者数の内訳

エリア	国・地域/来場者数	国・地域別の来場者数
日本国内	1カ国/33,037名	日本 33,037
アジア地域	14カ国・地域/808名	韓国 372/中国 147/台湾 136 シンガポール 33/香港28/マレーシア 27 タイ 17/インドネシア 12/インド 10 フィリピン 10/ベトナム 10/スリランカ 3 モンゴル 2/ミャンマー 1
北中南米地域	9カ国・地域/75名	アメリカ合衆国 49/カナダ 13/メキシコ 4 アルゼンチン 2/ブラジル 2/ペルー 2 ジャマイカ1/パナマ 1/他 1
大洋州地域	2カ国・地域/10名	オーストラリア 8/ニュージーランド 2
中近東・アフリカ地域	3カ国・地域/7名	アラブ首長国連邦 4/チュニジア 2 イスラエル 1
ヨーロッパ地域	18カ国・地域/67名	イギリス 19/ドイツ 9/フランス 6 オランダ 5/デンマーク 5/ロシア 5 イタリア 4/スペイン 3/ポーランド 3 オーストリア 1/ギリシャ 1/スウェーデン 1 チェコ 1/ノルウェー 1/ハンガリー 1 ベルギー 1/ポルトガル 1
不明		68
合計	47カ国・地域	34,072名

◆業種

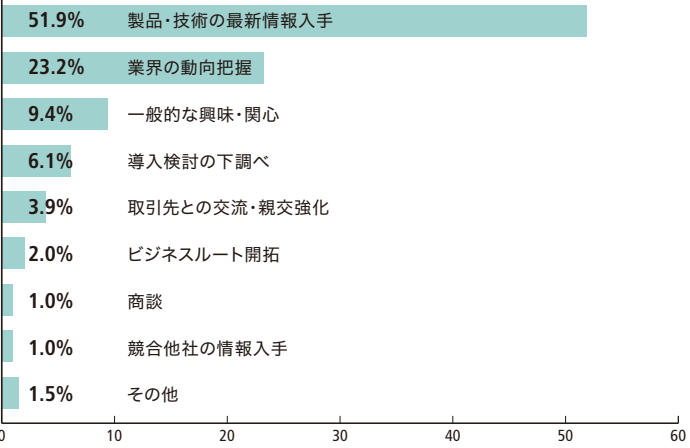
機器メーカー(放送・音響・映像機器)	14.4%	音楽コンテンツ制作・ミュージシャン・音楽家	1.7%
民間放送テレビ局	8.1%	劇場・ライブハウス・エンタメ施設関係	1.7%
商社・流通・機材販売代理店	7.1%	インターネット関連・Web制作・Webサービス	1.6%
映画・映像制作会社・ビデオグラファー	6.8%	興行・イベント企画・広告プロモーション企画	1.6%
システム・ソフト開発関連(Sier、SE、AI)	6.1%	動画コンテンツ制作関連(YouTuber・VTuber含む)	1.5%
その他ゲスト(連携業界・観光)	6.0%	その他メディア(出版・Web等)	1.4%
プロダクション	4.7%	官公庁・自治体・公的団体	1.2%
PA関係(音響デザイン・音響オペレーション)	4.1%	コンテンツ配信事業者(CDN、配信プラットフォーム)	1.1%
ポストプロダクション	3.6%	広告代理店	1.0%
その他ユーザ	3.3%	OTT/動画配信事業者	0.9%
NHK	3.1%	クラウド制作/AI・自動化サービス提供事業者	0.8%
学校・教育機関・研究機関	3.0%	民間放送ラジオ局	0.7%
舞台・演出・美術・照明・ファッション関連	2.5%	アニメーション制作関係	0.4%
通信事業者(5G・回線等)	2.1%	学生	7.6%
CATV関係	1.9%		

◆関心(複数回答)

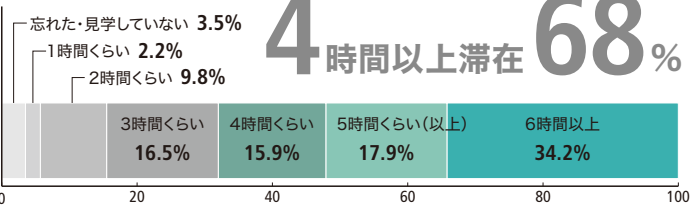
映像機器全般	54.0%	送出システム	7.6%
オーディオ機器全般	37.2%	OTT、SNS、セカンドスクリーン関連	7.0%
カメラ	24.1%	広告/マーケティングサービス	6.4%
編集・制作装置	15.3%	サーバ・ストレージ	6.4%
配信システム	13.7%	パブリックビューイング、プロジェクションマッピング、デジタルサイネージ	5.9%
スピーカ	12.6%	送信システム	5.8%
クラウドサービス関連	11.5%	美術・舞台演出関連	4.7%
映像モニタ	11.3%	各種特機・周辺製品	4.6%
マイクロホン	10.7%	デジタルシネマ	4.5%
ミキサ	10.5%	制作管理システム	4.4%
デジタルコンテンツ	10.2%	測定機器	3.9%
ソフトウェア	10.1%	電源装置	2.7%
VR、AR、3D、メタバース	9.8%	VTR・メモリカード・光ディスク	2.5%
照明機器	9.6%	その他	1.9%
中継システム	8.6%		

来場者アンケート

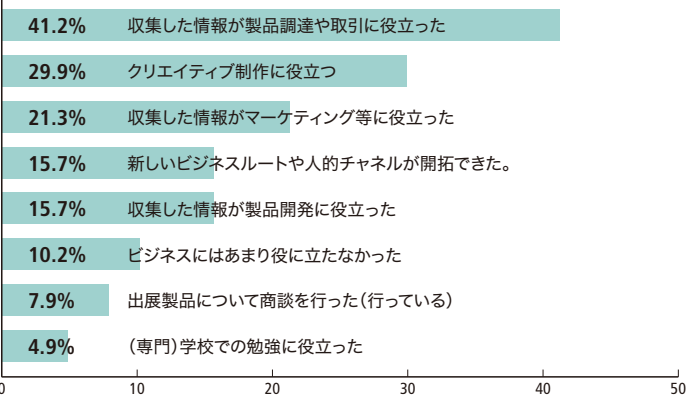
◆Inter BEE 2025にご来場された目的を教えてください。



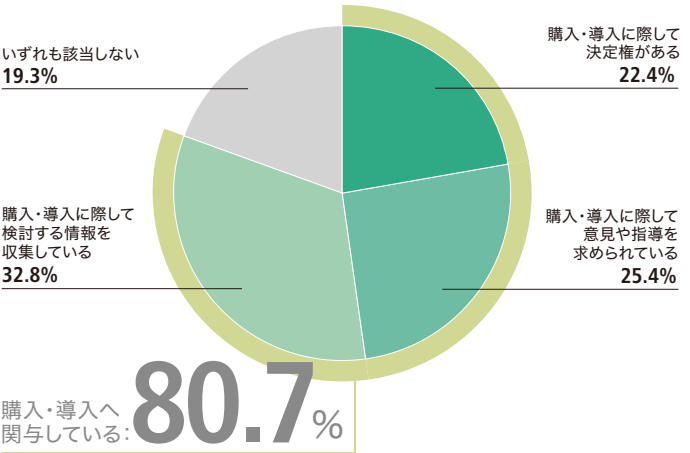
◆Inter BEE 2025で過ごされた時間を教えてください。
2日以上ご来場の場合は、一番長く過ごされた時間でお知らせください。(ひとつだけ)



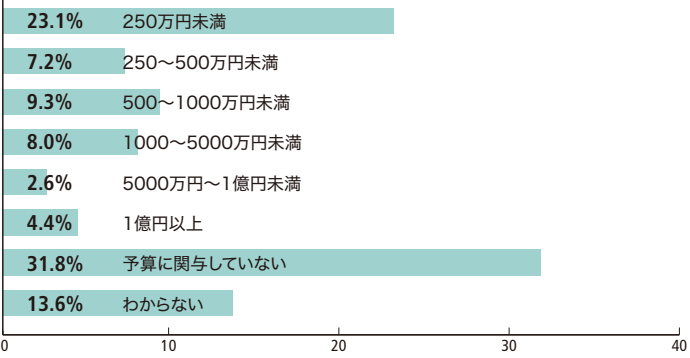
◆あなたは、Inter BEE 2025を見学して、その後ビジネスに役立ちましたか。【複数回答】



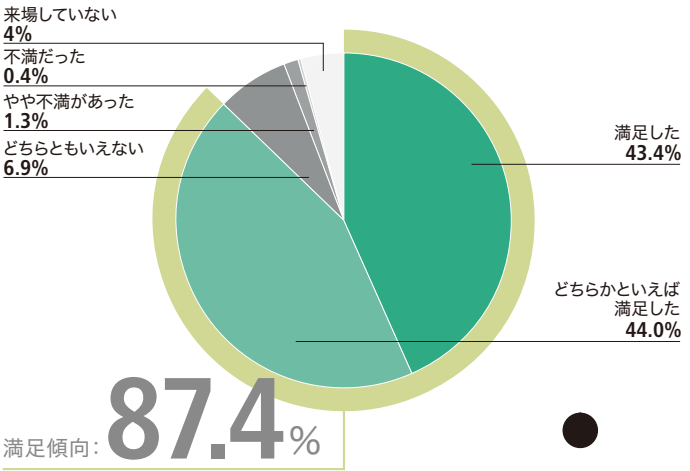
◆御社での製品・サービスの購入・導入にあたって、あなたはどの程度関与されていますか。



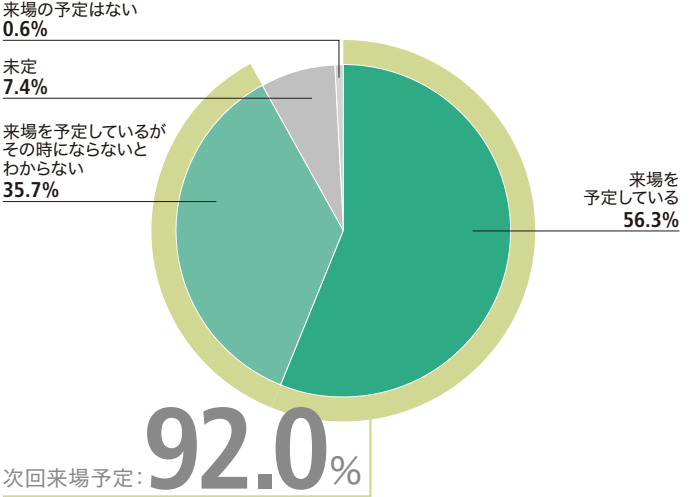
◆あなたが関与する製品・サービスの購入・導入に対する予算は、おおよそ年間いくらくらいですか。



◆今回のご来場の目的はどの程度満足されましたか。



◆『Inter BEE 2026』にご来場いただけますか。(ひとつだけ)



■出展者数

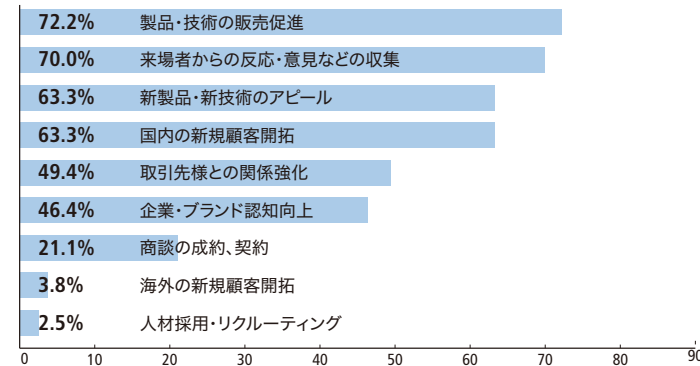
展示部門	出展者数	小間数
プロオーディオ	279	383
エンターテインメント/ライティング	132	195
映像制作／放送関連機材	573	1,294
メディア・ソリューション	95	113
合 計	1,079	1,985

エリア	国・地域数／出展者数	国・地域別の出展者数
日本国内	1ヵ国／513社	日本 513
アジア地域	9ヵ国・地域／200社	中国 129／台湾 31／韓国 30／香港 3／シンガポール 2 タイ 1／インドネシア 1／インド 1／ベトナム 1
北中南米地域	4ヵ国・地域／150社	アメリカ 133／カナダ 14／コスタリカ 2／ブラジル 1
大洋州・中東・アフリカ	3ヵ国・地域／19社	オーストラリア 9／イスラエル 8 ニュージーランド 2
ヨーロッパ地域	27ヵ国・地域／197社	ドイツ 47／イギリス 41／オランダ 14／フランス 13 イタリア 13／スウェーデン 10／ベルギー 9／スペイン 8 ルウェー 6／スイス 6／デンマーク 5／ラトビア 4 オーストリア 3／ポーランド 3／フィンランド 2／ポルトガル 2 ウクライナ 1／ブルガリア 1／クロアチア 1／チェコ 1 ハンガリー 1／アイルランド 1／リヒテンシュタイン 1 ルーマニア 1／スロバキア 1／トルコ 1／ロシア 1
	44ヵ国・地域	1,079社／団体

出展者数：1,079社

出展国・地域数：**44**カ国・地域

◆出展者目的【複数回答】



Category	Percentage
満足した	43.5%
どちらかといえば満足した	44.3%
どちらともいえない	10.5%
不満だった	0.4%
満足傾向 (Total)	87.8%

1F Hall 8 **Hall 7** **Hall 6** **Hall 5** **Hall 4** **Hall 3** **Hall 2**

映像制作 / 放送関連機材

INTER BEE **CINEMA**

メディア・ソリューション

INTER BEE **CREATIVE** INTER BEE **MEDIA Biz**

ミーティングルーム 事務局 クローク

ピックアップカウンター ピックアップカウンター

2F

国際会議場
INTER BEE **FORUM**
セッション会場

ピックアップカウンター

JR海浜幕張駅より

Information

ピックアップカウンター

イベントホール
INTER BEE **EXPERIENCE**
X-Speaker

駐車場へ

Broadmedia & Entertainment

Inter BEE 2026

11.18水》》20金 幕張メッセ

多様な産業と専門領域が交差し
メディアとエンターテインメントの新たな価値を生み出す
メディア総合イベント

New Era of Media: Driving the Future of Content Business



Content

Video

ENTERTAINMENT

Lighting



#interbee2026

